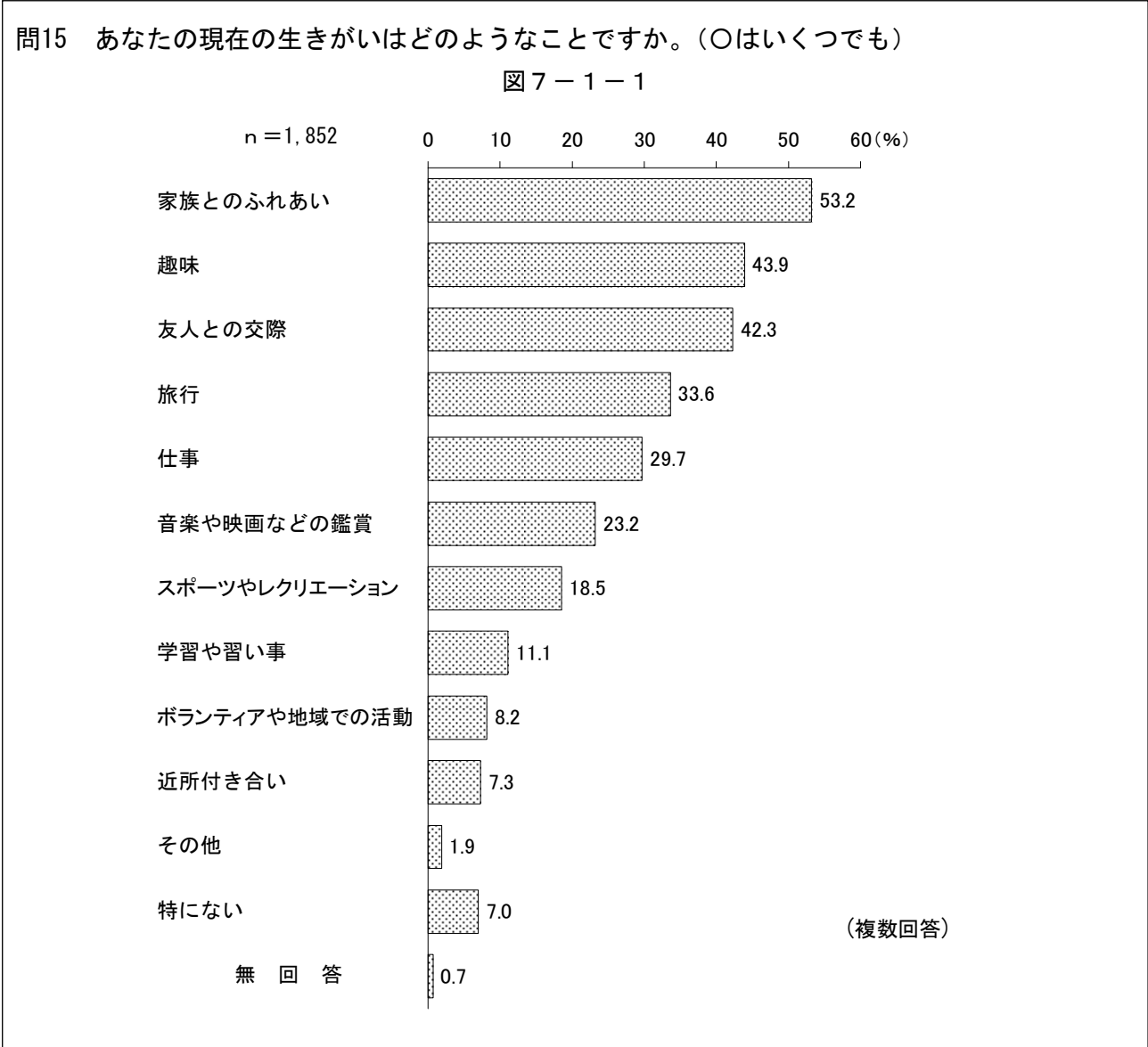


7.「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

7-1 現在の生きがい

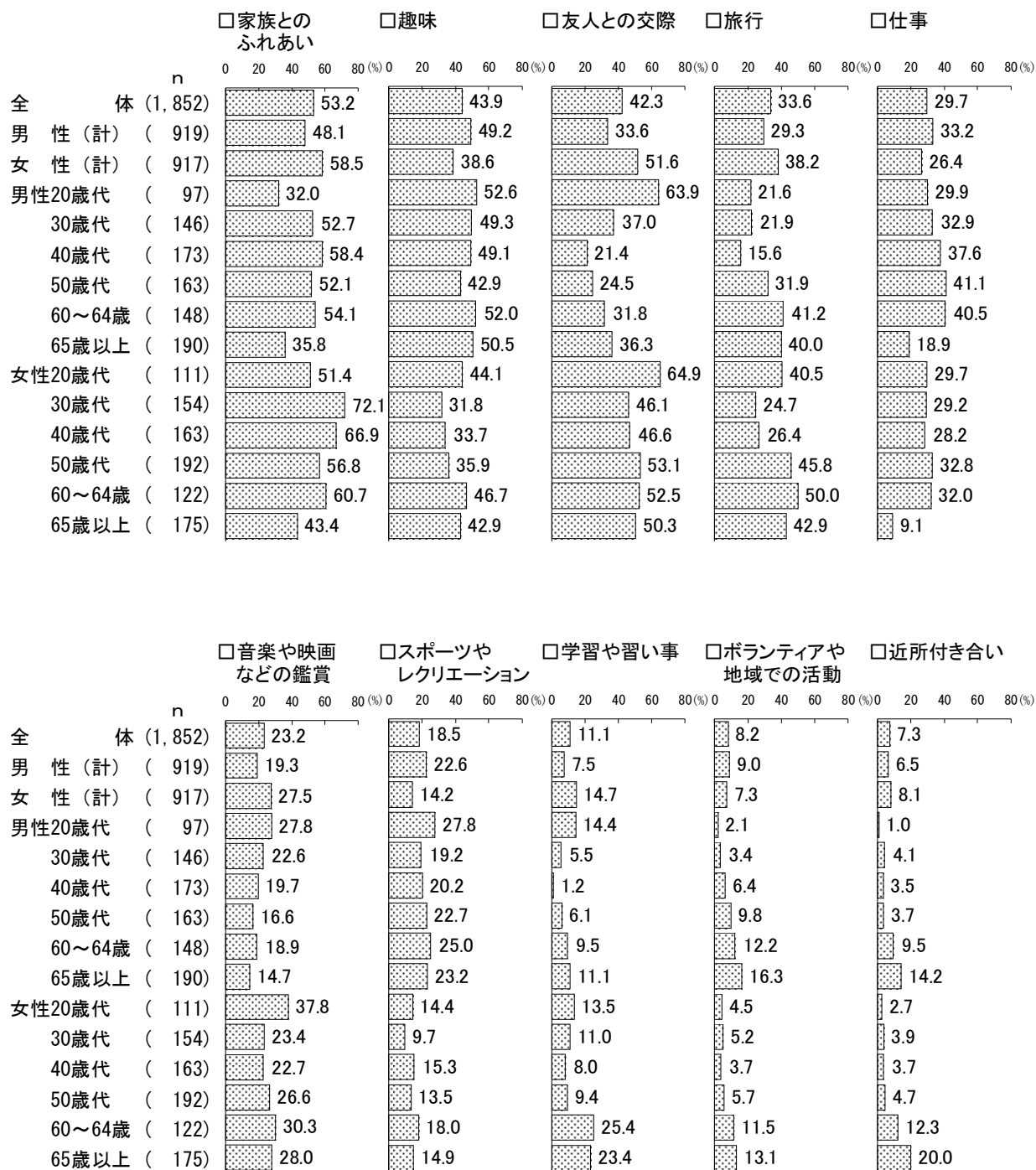
◇「家族とのふれあい」が5割強



現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が5割強（53.2%）と最も高く、ついで「趣味」（43.9%）、「友人との交際」（42.3%）、「旅行」（33.6%）、「仕事」（29.7%）の順が続いている。

(図7-1-1)

図7-1-2 現在の生きがいー性・年齢別（上位10項目）



性別にみると、「友人との交際」は18.0ポイント、「家族とのふれあい」は10.4ポイント、それぞれ女性のほうが高く、「趣味」は男性のほうが10.6ポイント高くなっている。

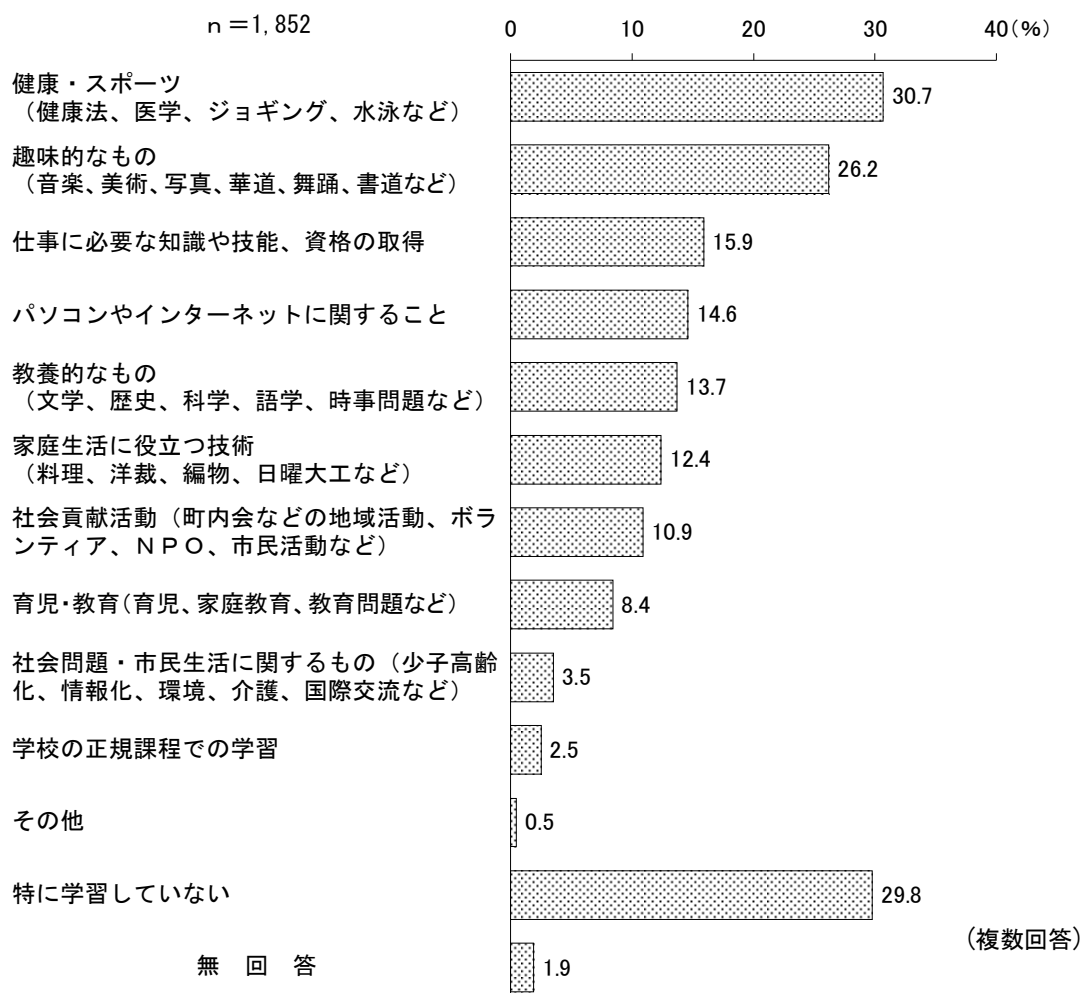
性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の30歳代で7割強と高く、「趣味」は男性の20歳代と60歳以上で5割を超えている。「友人との交際」は男性と女性の20歳代で6割台と高く、「旅行」は女性の60～64歳で5割となっており、「仕事」は男性の50歳代・60～64歳で4割台と高くなっている。「音楽や映画などの鑑賞」は女性の20歳代で4割弱、「スポーツやレクリエーション」は男性の20歳代で3割弱となっている。また、「学習や習い事」は女性の60歳以上で2割以上と高くなっている。（図7-1-2）

7-2 この1年間に取り組んだ学習活動

◇「健康・スポーツ」がほぼ3割

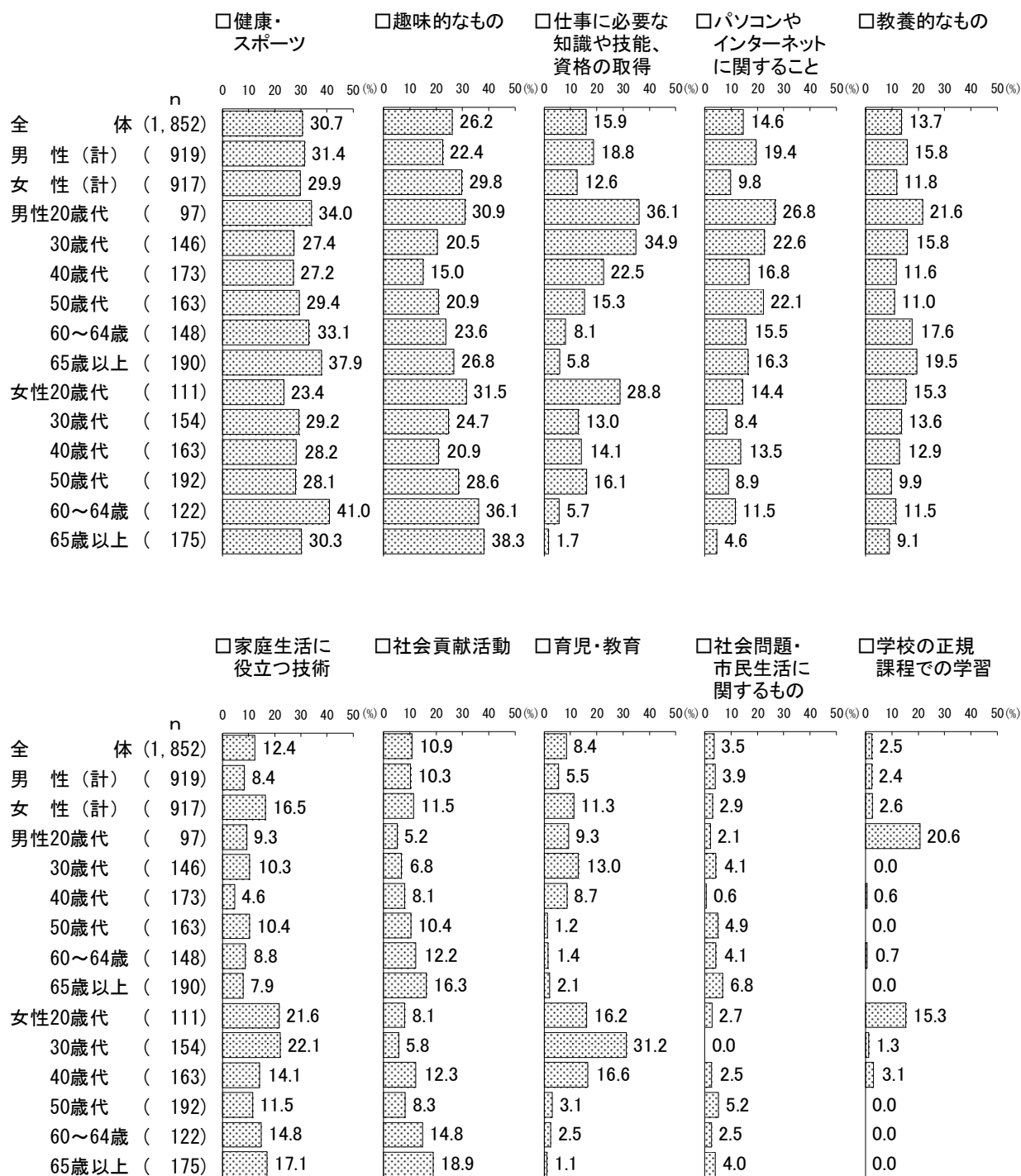
問16 あなたがこの1年間に取り組んだ生涯学習活動はどれですか。(〇はいくつでも)

図7-2-1



この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「健康・スポーツ(健康法、医学、ジョギング、水泳など)」がほぼ3割(30.7%)と最も高く、ついで「趣味的なもの(音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など)」(26.2%)、「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」(15.9%)、「パソコンやインターネットに関すること」(14.6%)と続いている。(図7-2-1)

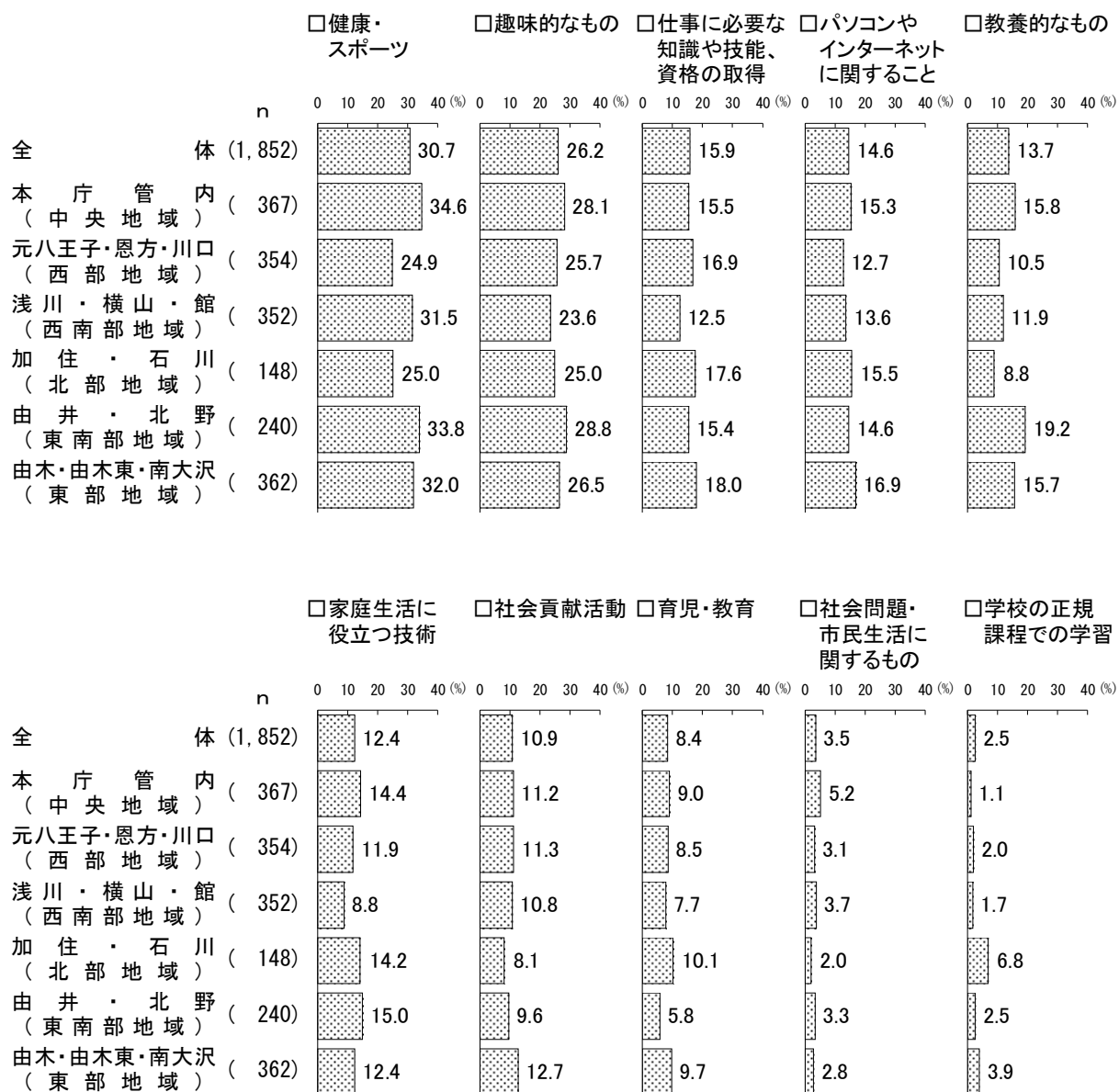
図7-2-2 この1年間に取り組んだ学習活動一性・年齢別（上位10項目）



性別にみると、男性のほうが「パソコン・インターネットに関すること」で9.6ポイント、「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」で6.2ポイント高く、女性のほうが「家庭生活に役立つ技術」で8.1ポイント、「趣味的なもの」で7.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康・スポーツ」は女性の60～64歳で4割強（41.0%）と高く、「趣味的なもの」は女性の65歳以上で4割弱（38.3%）と高くなっている。「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」は男性では年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。「育児・教育」は女性の30歳代で3割強（31.2%）と高くなっている。（図7-2-2）

図 7-2-3 この1年間に取り組んだ学習活動—居住地域別（上位10項目）



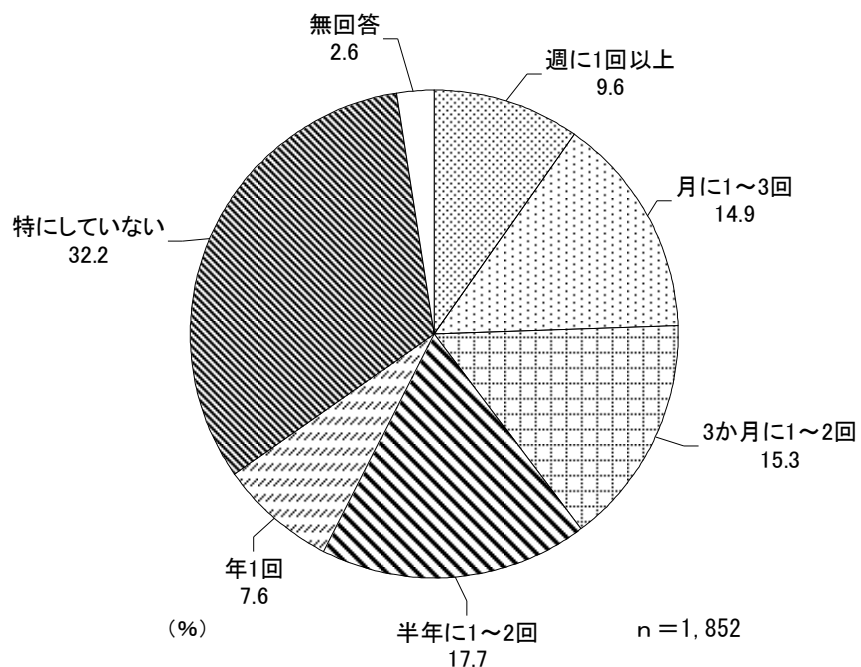
居住地域別にみると、本庁管内（中央地域）では「健康・スポーツ」が3割台半ば（34.6%）と高くなっている。由井・北野（東南部地域）では「教養的なもの」がほぼ2割（19.2%）と高くなっている。（図7-2-3）

7-3 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「特にしていない」が3割強

問17 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑
(観) 賞も含みます) (〇は1つだけ)

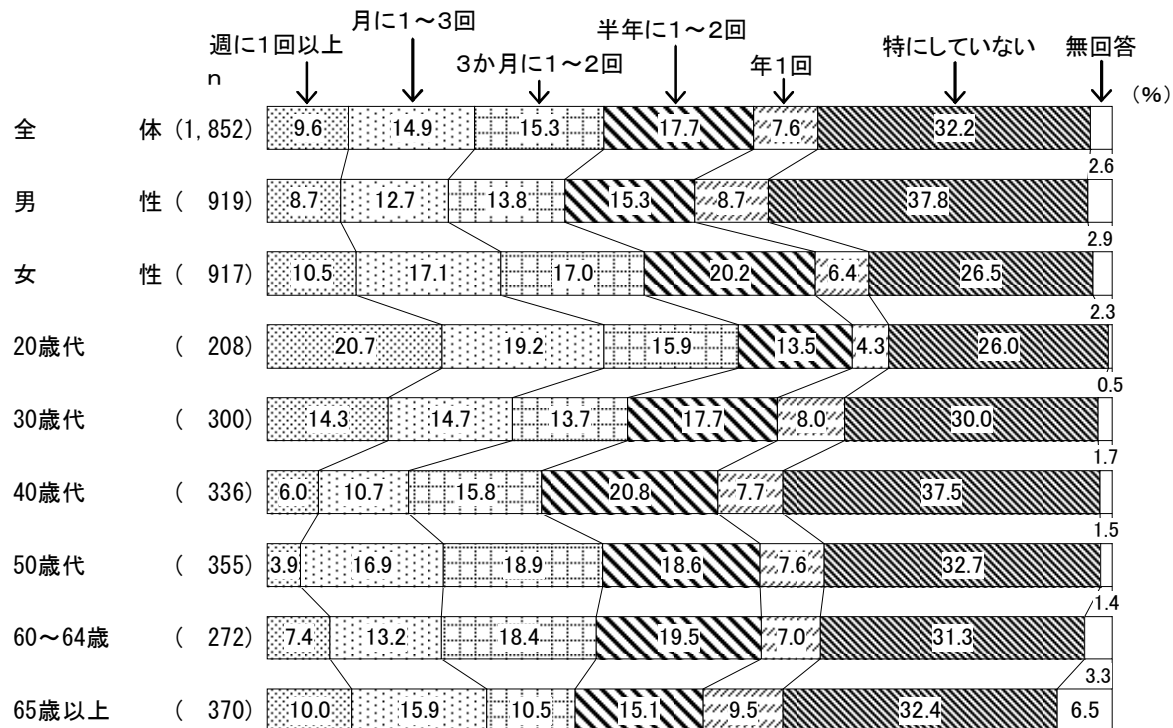
図7-3-1



この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」がほぼ1割(9.6%)、「3か月に1～2回」(15.3%)と「月に1～3回」(14.9%)が1割台半ばで、「半年に1～2回」が2割弱(17.7%)となっている。「特にしていない」は3割強(32.2%)となっている。

(図7-3-1)

図 7-3-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「特にしていない」が11.3ポイント高くなっている。

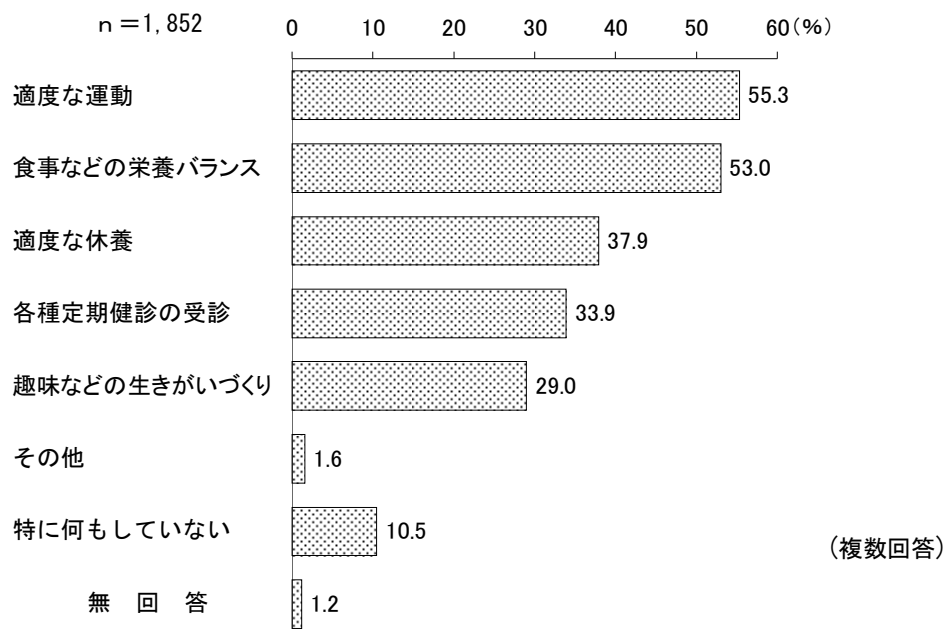
年齢別にみると、「週に1回以上」と「月に1～3回」の合計は20歳代（39.9%）の割合が最も高く、40歳代（16.7%）の割合が最も低くなっている。（図7-3-2）

7-4 健康のために心がけていること

◇「適度な運動」が5割台半ば

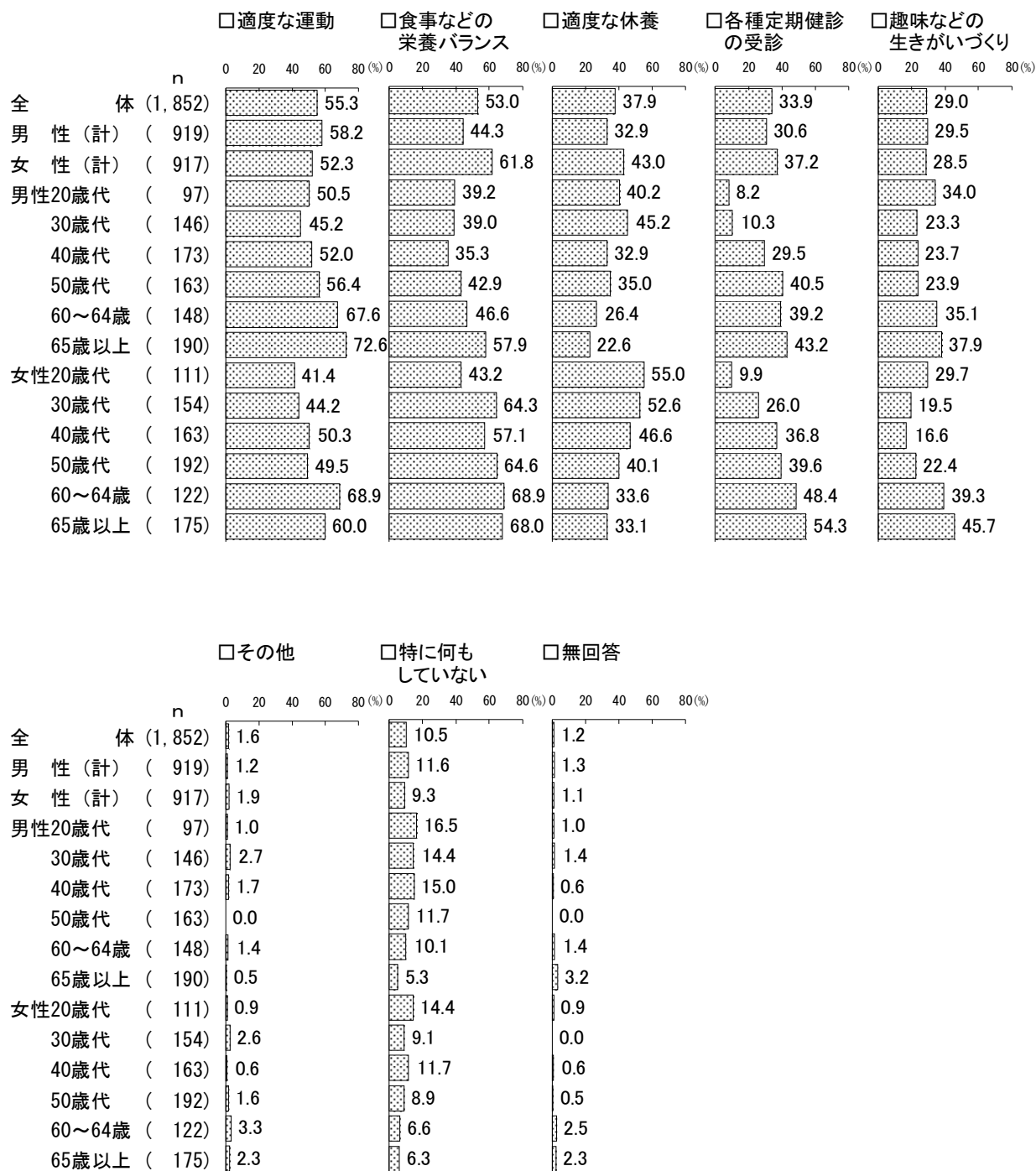
問18 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
(○はいくつでも)

図7-4-1



健康の維持・増進のために自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」(55.3%)が5割台半ばと最も高く、ついで「食事などの栄養バランス」(53.0%)、「適度な休養」(37.9%)、「各種定期健診の受診」(33.9%)と続いている。(図7-4-1)

図 7-4-2 健康のために心がけていること・性・年齢別



性別にみると、「食事などの栄養バランス」は女性のほうが17.5ポイント高くなっている。

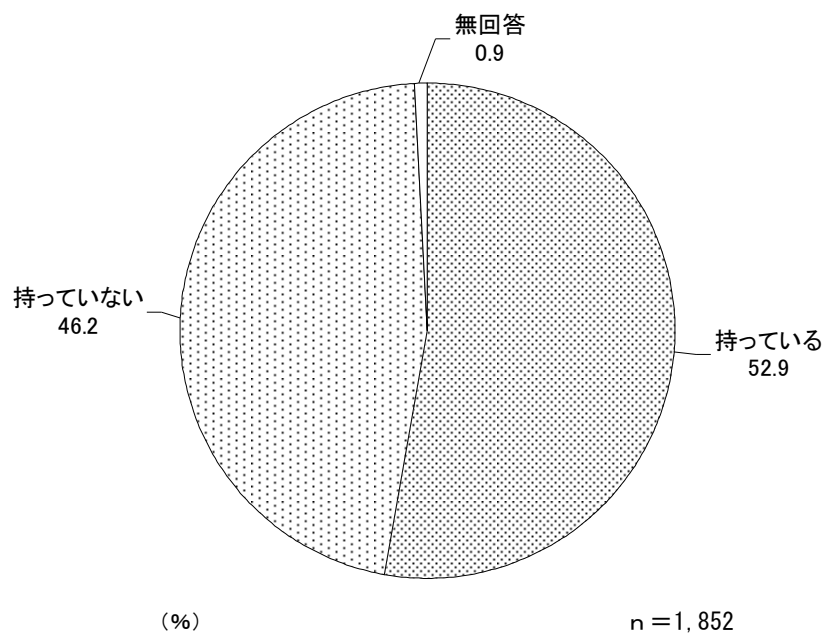
性・年齢別にみると、「適度な運動」は男性の65歳以上で7割強（72.6%）と高くなっている。「食事などの栄養バランス」では女性の20歳代と40歳代を除いた年齢層で6割台と高くなっている。「適度な休養」は男女とも概ね年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられ、特に女性の20歳代では5割台半ば（55.0%）を占めている。「各種定期健診の受診」は男女とも概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、「趣味などの生きがいがづくり」は女性の65歳以上で4割台半ば（45.7%）と高くなっている。（図 7-4-2）

7-5 かかりつけの医療機関の有無

◇「持っている」人は5割強

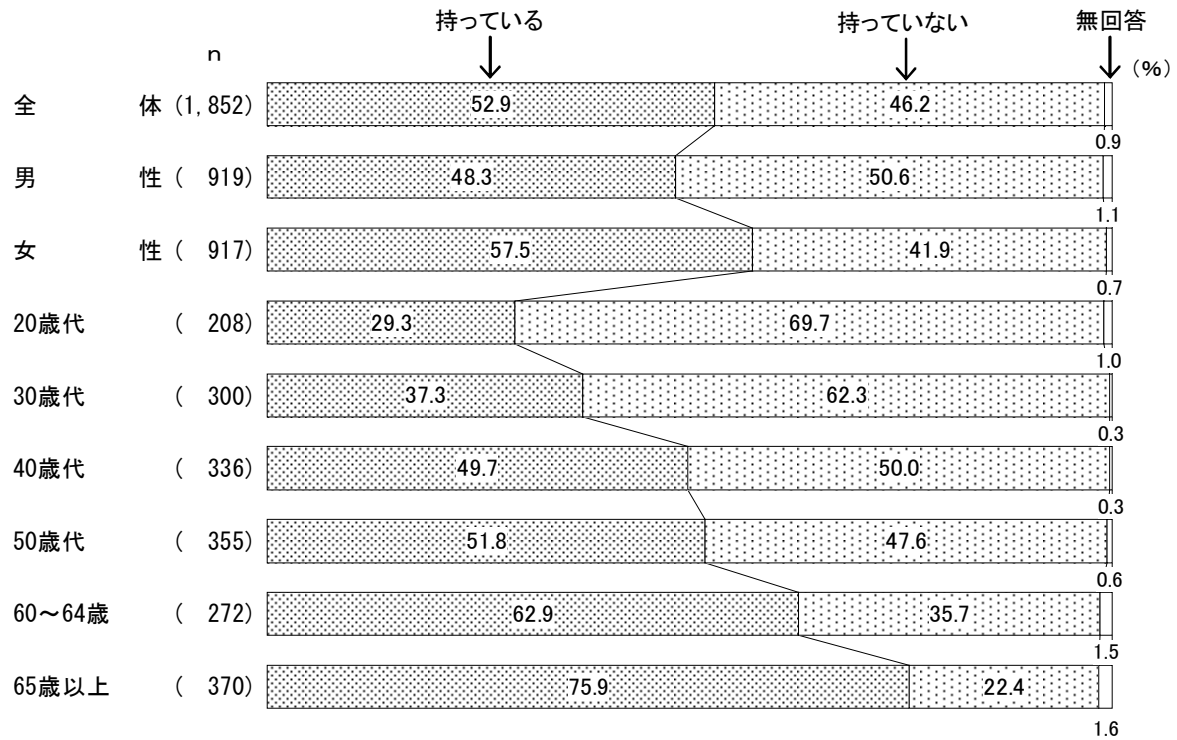
問19 あなたは、「かかりつけ医」を持っていますか。(○は1つだけ)

図7-5-1



かかりつけの医療機関の有無について聞いたところ、「持っている」が5割強（52.9%）、一方、「持っていない」が5割弱（46.2%）となっている。（図7-5-1）

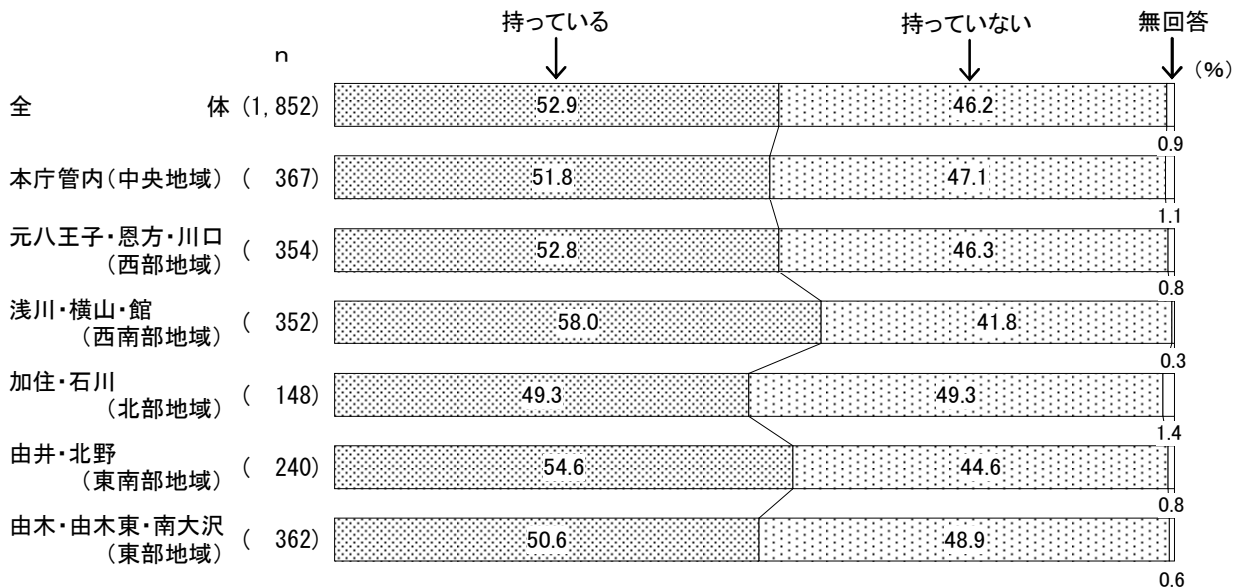
図 7-5-2 かかりつけの医療機関の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「持っている」が9.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「持っている」は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、65歳以上では7割台半ば（75.9%）を占めている。（図7-5-2）

図 7-5-3 かかりつけの医療機関の有無－居住地域別



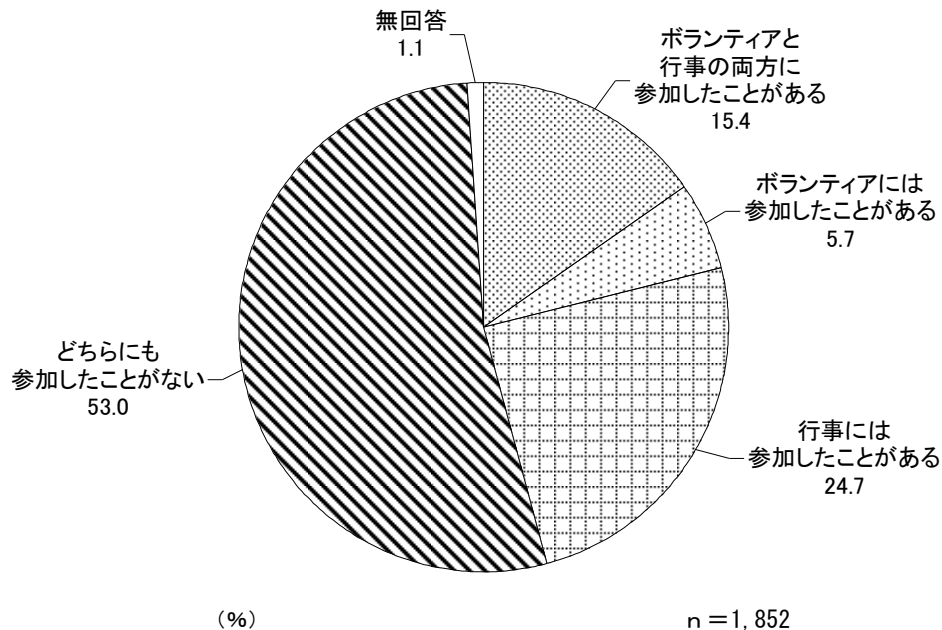
居住地域別にみると、「持っている」は浅川・横山・館（西南部地域）で6割弱（58.0%）と高くなっている。（図7-5-3）

7-6 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割台半ば

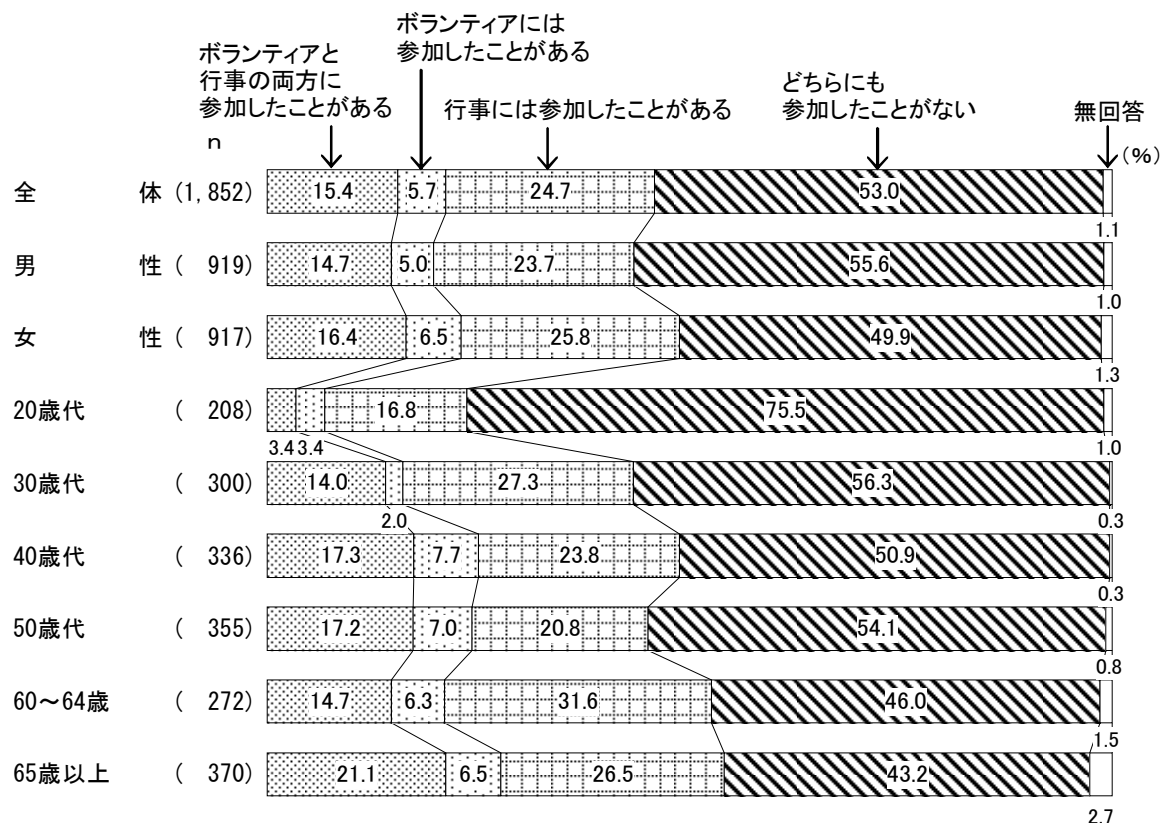
問20 あなたは、この1年間に地域の中でボランティア活動（清掃や防犯・防災活動、学校教育や地域スポーツ活動への支援・協力など）や行事（町内会等の地域のイベント・お祭りなど）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

図7-6-1



この1年間に地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがあるか聞いたところ、「行事には参加したことがある」は2割台半ば（24.7%）、「ボランティアと行事の両方に参加したことがある」（15.4%）、「ボランティアには参加したことがある」（5.7%）と続き、3項目を合わせた『参加したことがある』は4割台半ば（45.8%）となっている。一方、「どちらにも参加したことがない」は5割強（53.0%）となっている。（図7-6-1）

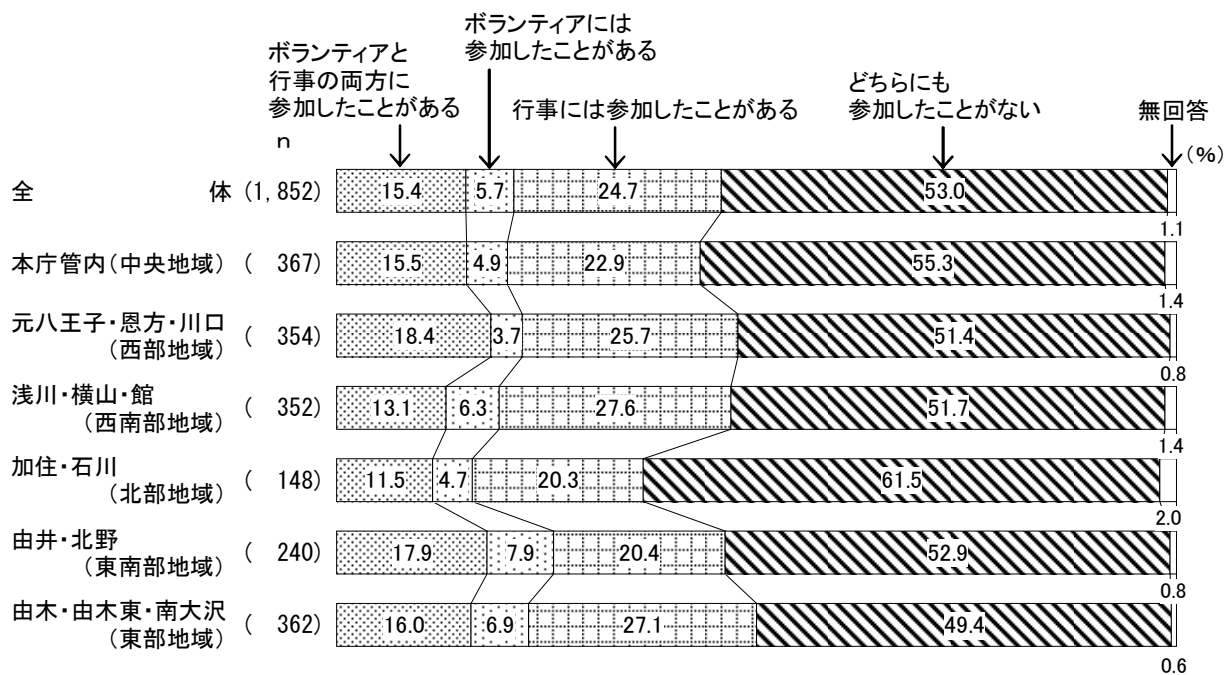
図 7-6-2 この1年間の地域行事への参加—性別・年齢別



性別にみると、『参加したことがある』は女性のほうが5.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『参加したことがある』では20歳代（23.6%）が極端に低く、60歳以上では5割以上と高くなっている。（図7-6-2）

図 7-6-3 この1年間の地域行事への参加—居住地域別



居住地域別にみると、『参加したことがある』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割（50.0%）と最も高く、加住・石川（北部地域）で3割台半ば（36.5%）と最も低くなっている。

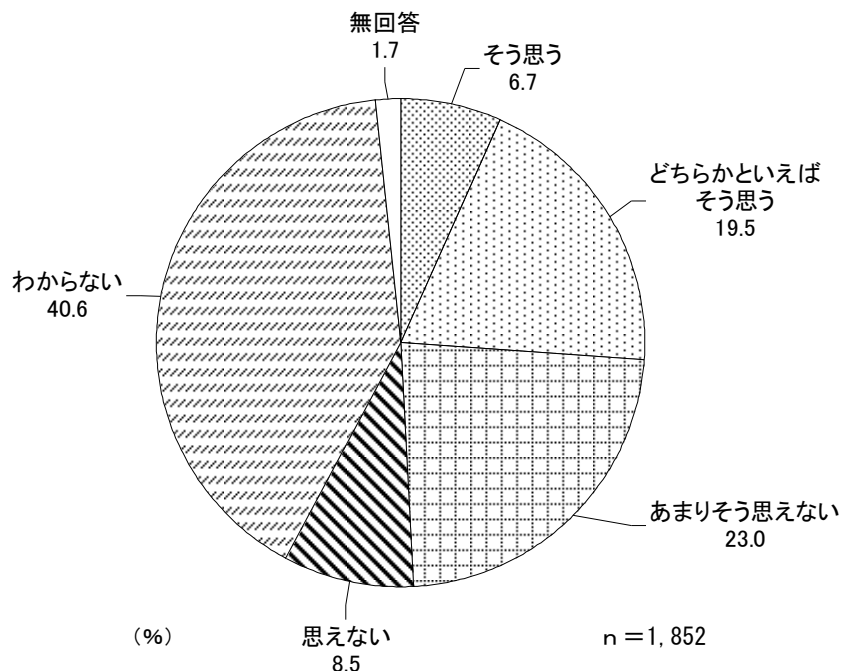
（図7-6-3）

7-7 市民協働の推進状況

◇『そう思う』は3割弱

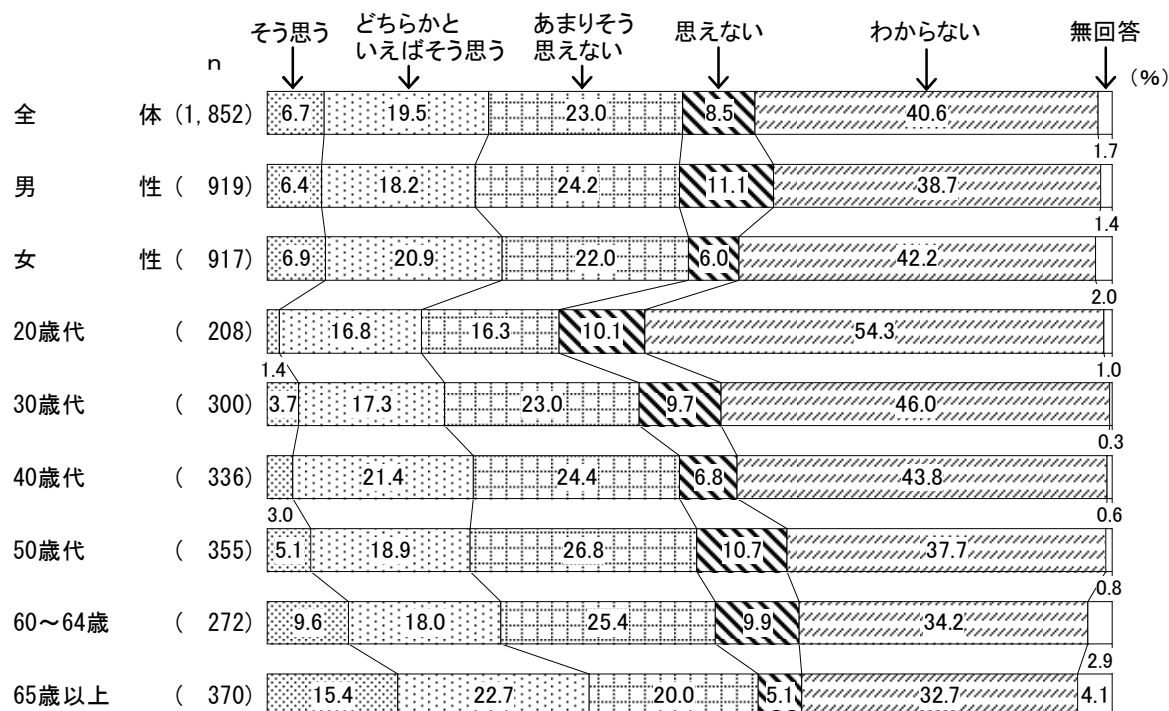
問21 あなたは、市が市民協働のまちづくりを進めていると感じますか。(○は1つだけ)

図7-7-1



市が市民協働のまちづくりを進めていると感じるかどうか聞いたところ、「そう思う」は6.7%にとどまり、「どちらかといえばそう思う」(19.5%)と合わせた『そう思う』は3割弱(26.2%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(23.0%)と「思えない」(8.5%)を合わせた『思えない』は3割強(31.5%)となっている。(図7-7-1)

図 7-7-2 市民協働の推進状況－性別・年齢別

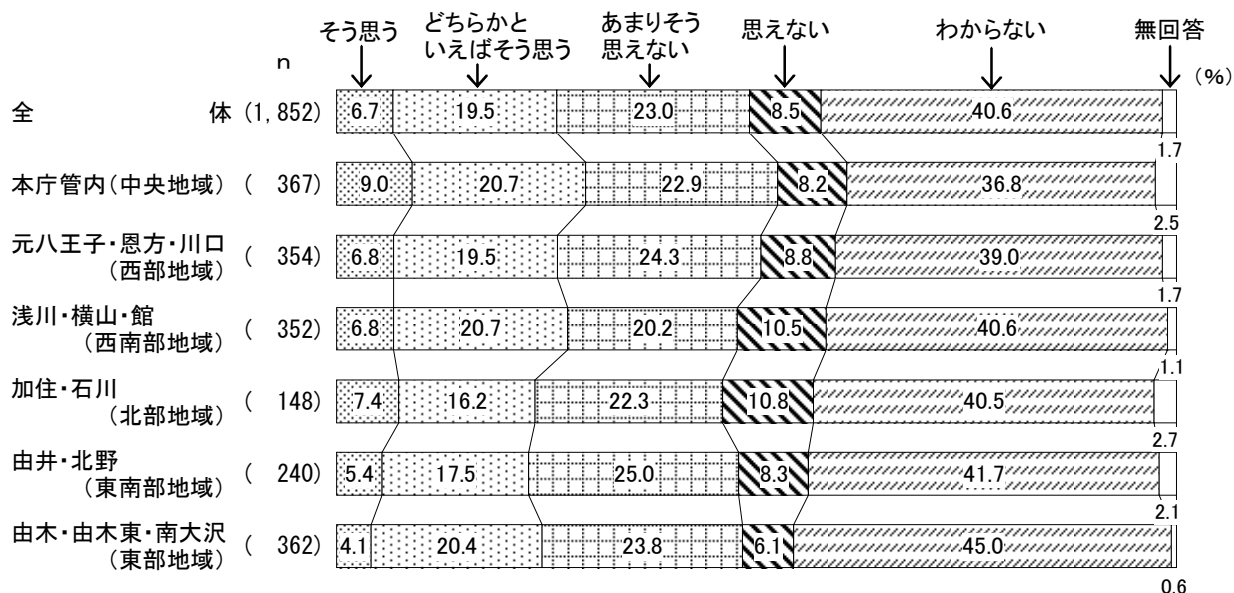


性別にみると、『思えない』は男性のほうが7.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上で4割弱（38.1%）と特に高くなっている。

(図 7-7-2)

図 7-7-3 市民協働の推進状況－居住地域別



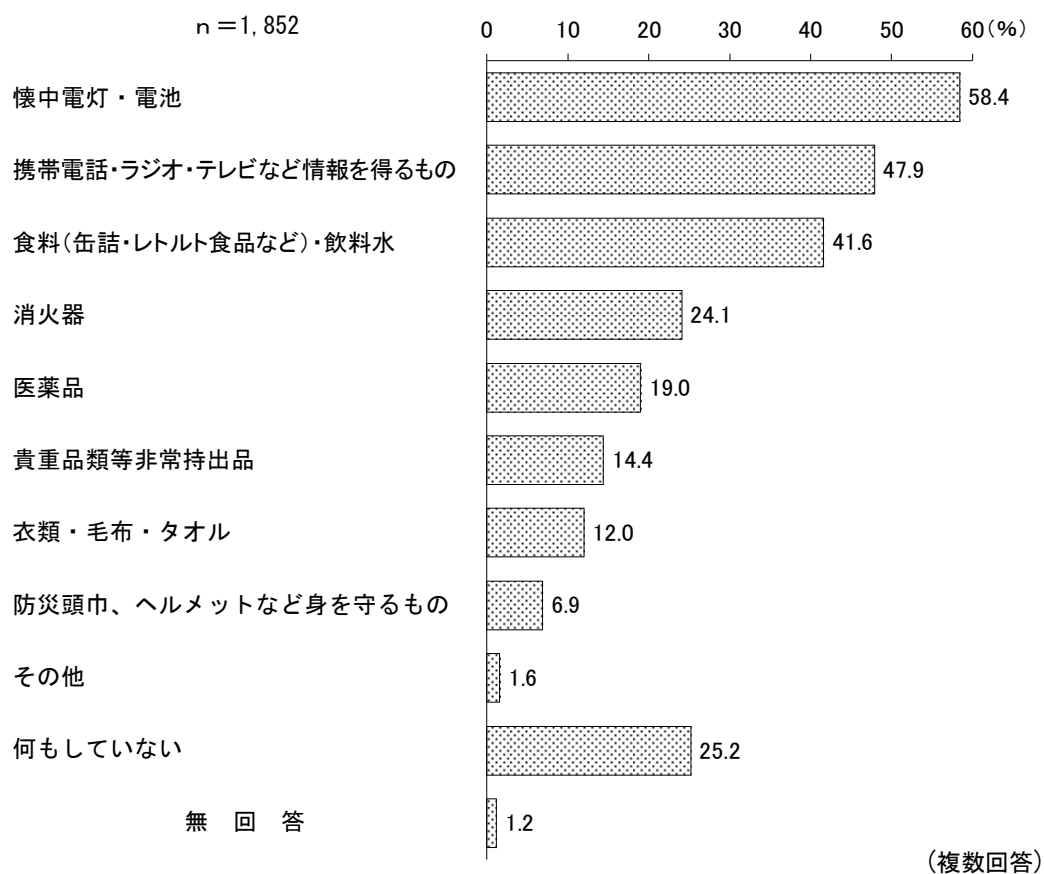
居住地域別にみると、『そう思う』は本庁管内（中央地域）でほぼ3割（29.7%）と最も高くなっている。(図 7-7-3)

7-8 災害に対する準備

◇「懐中電灯・電池」が6割弱

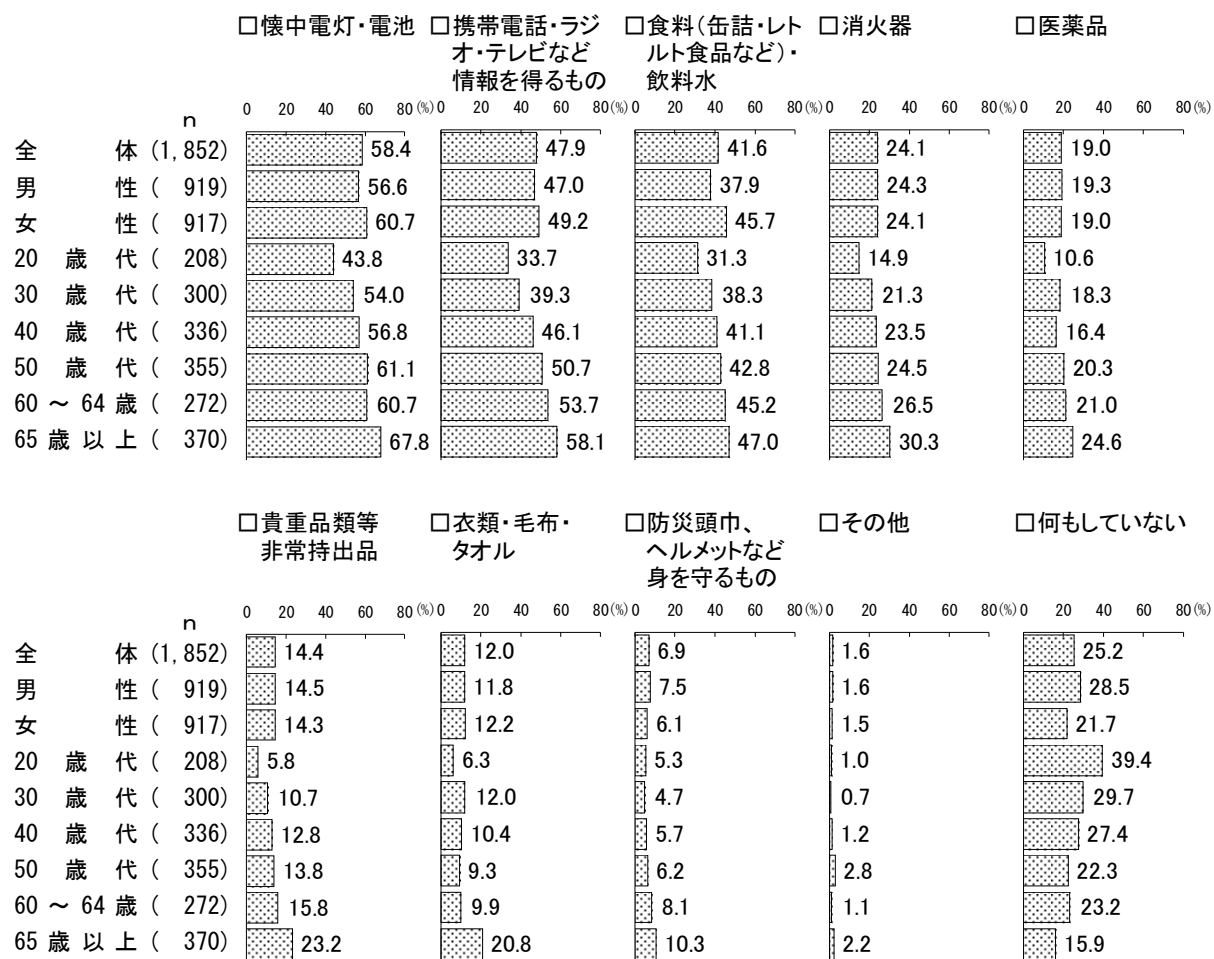
問22 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。
(○はいくつでも)

図 7-8-1



大地震等の災害に備えた準備について聞いたところ、「懐中電灯・電池」が6割弱（58.4%）と最も高く、ついで「携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの」（47.9%）、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」（41.6%）、「消火器」（24.1%）の順が続いている。（図 7-8-1）

図 7-8-2 災害に対する準備—性別・年齢別



性別にみると、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」は女性のほうが7.8ポイント高くなっている。

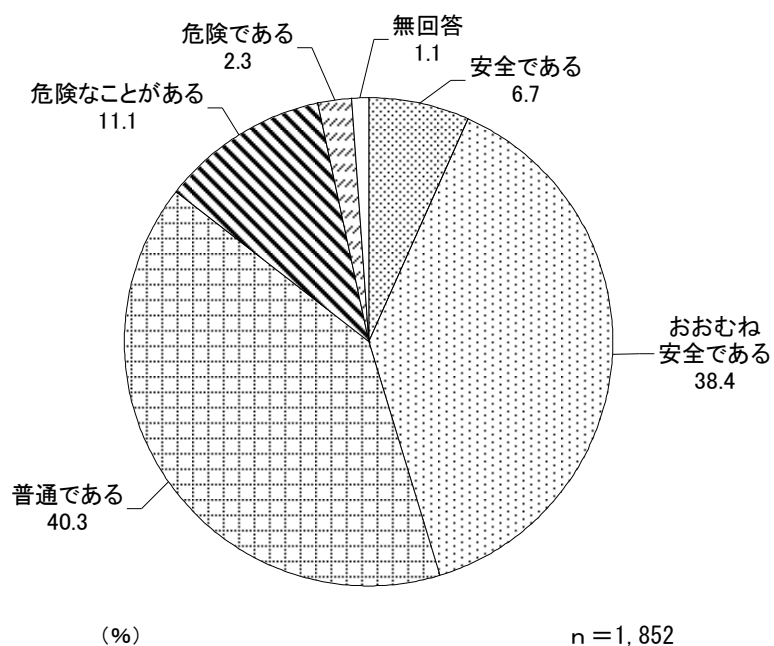
年齢別にみると、「懐中電灯・電池」、「携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの」、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」、「消火器」、「貴重品類等非常持出品」は、年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にある。これに対して、「何もしていない」は概ね年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代はほぼ4割（39.4%）と高くなっている。（図7-8-2）

7-9 日常生活環境の安全度

◇『安全である』が4割台半ば

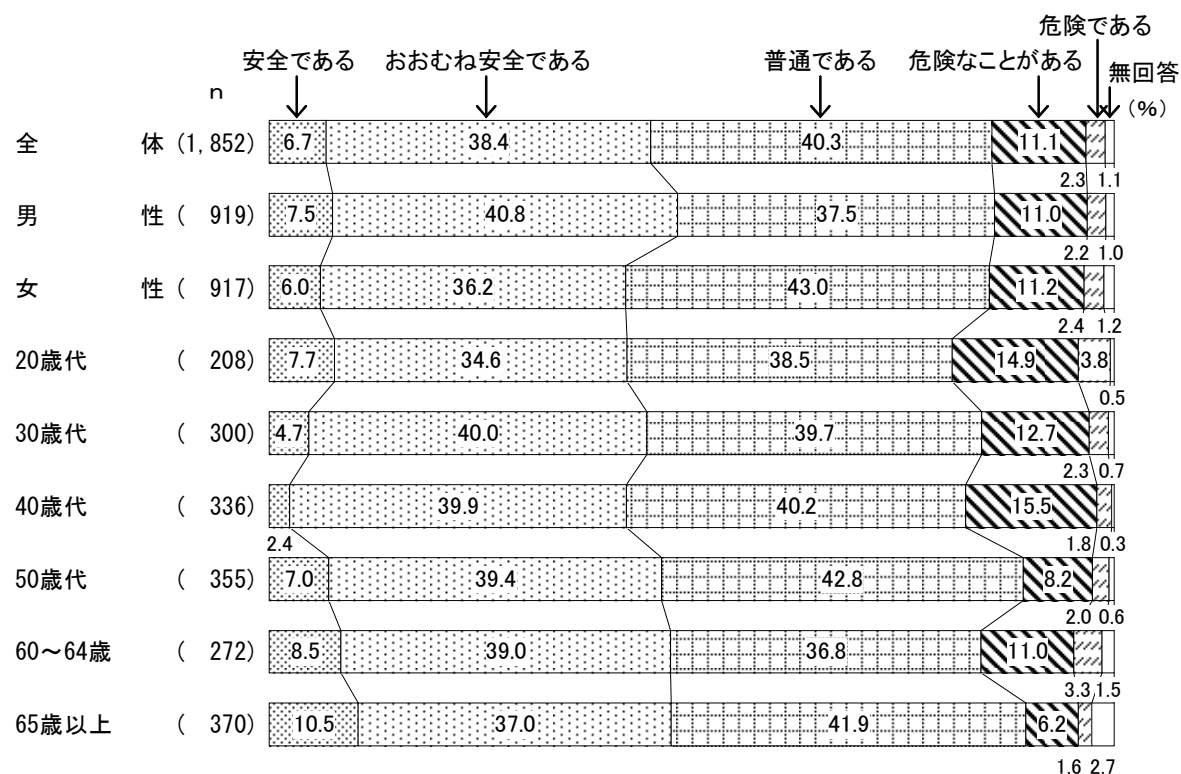
問23 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ)

図7-9-1



お住まいの地域が安全であると感じるかどうか聞いたところ、「普通である」がほぼ4割（40.3%）と最も高く、「安全である」（6.7%）と「おおむね安全である」（38.4%）を合わせた『安全である』は4割台半ば（45.1%）となっている。一方、「危険なことがある」（11.1%）と「危険である」（2.3%）を合わせた『危険である』は1割強（13.4%）となっている。（図7-9-1）

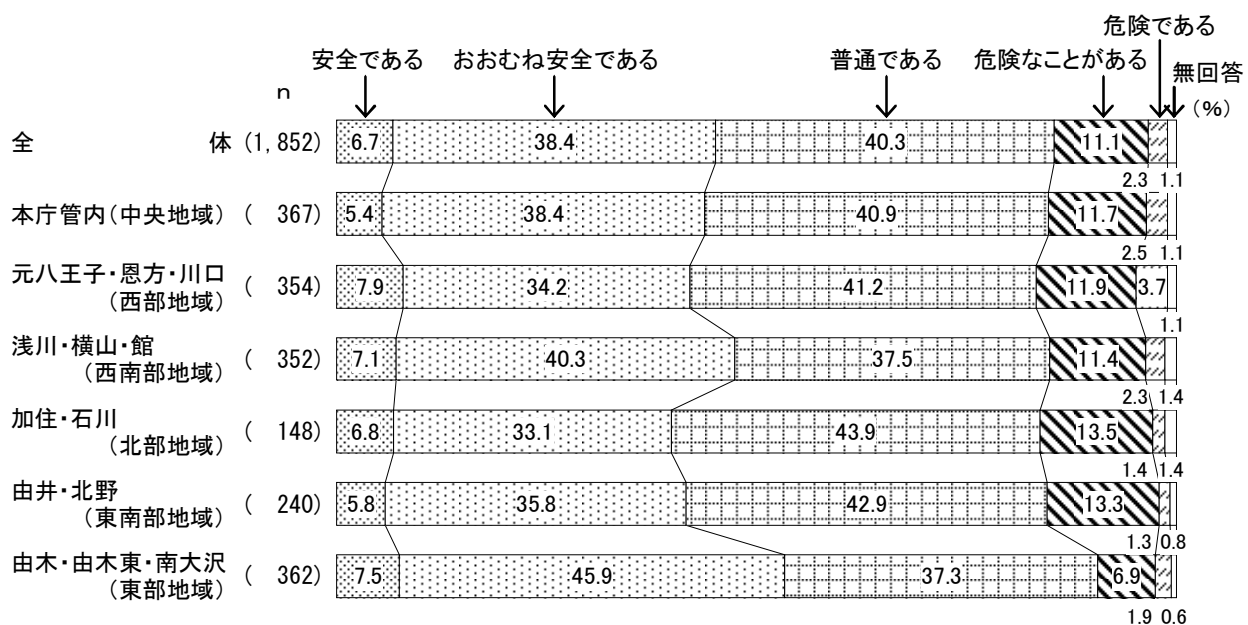
図 7-9-2 日常生活環境の安全度－性別・年齢別



性別にみると、『安全である』は男性のほうが6.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『危険である』は20歳代で2割弱（18.7%）と最も高く、65歳以上で1割弱（7.8%）と最も低くなっている。（図7-9-2）

図 7-9-3 日常生活環境の安全度－居住地域別



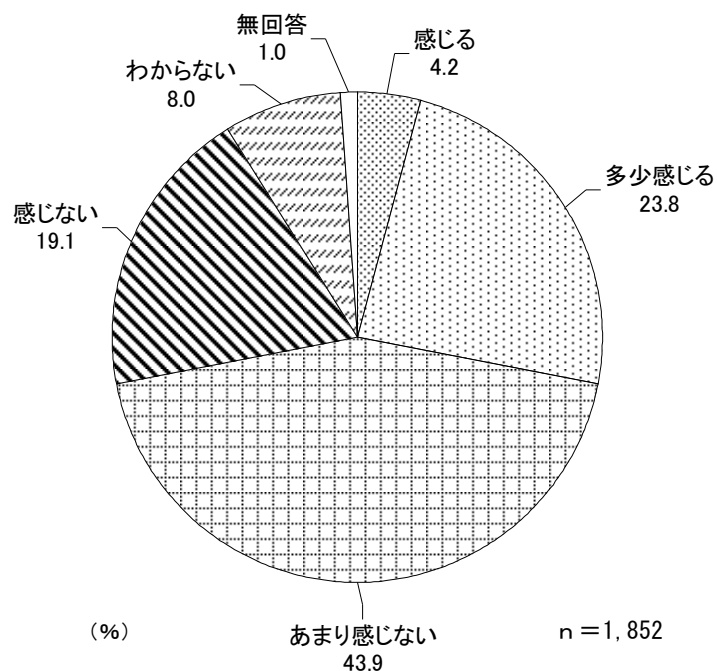
居住地域別にみると、『安全である』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割強（53.4%）と最も高く、加住・石川（北部地域）でほぼ4割（39.9%）と最も低くなっている。（図7-9-3）

7-10 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割強

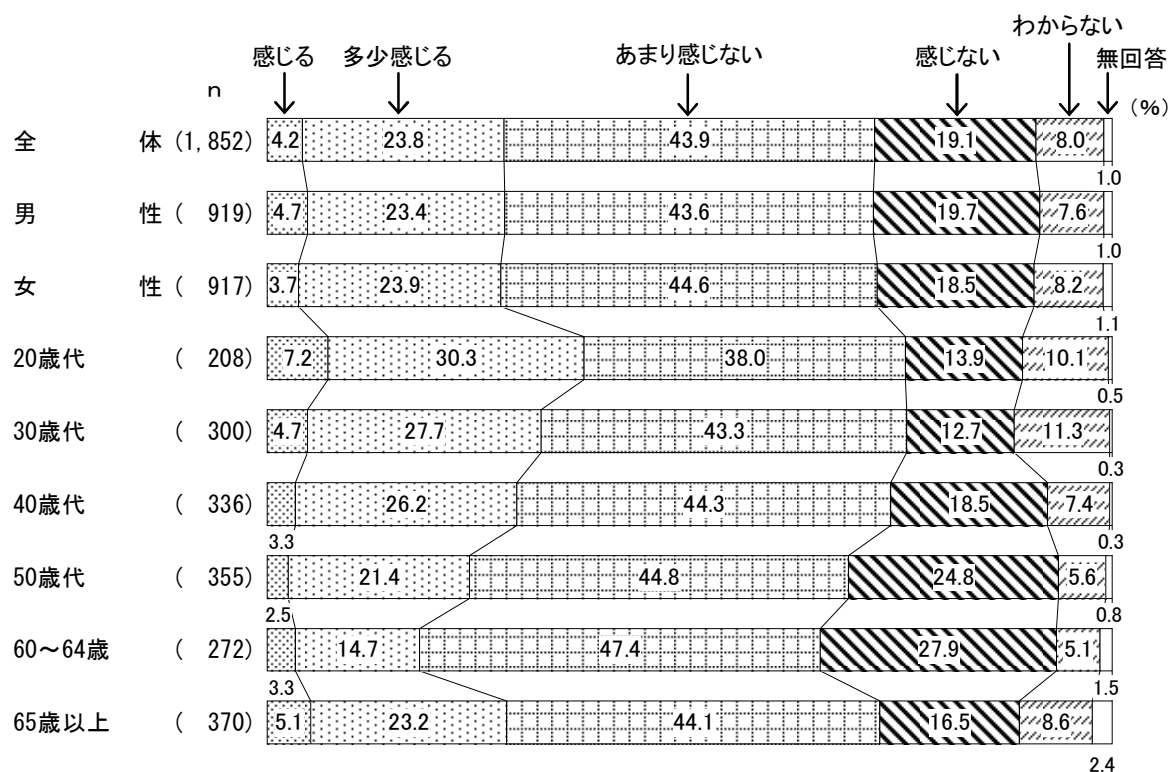
問24 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

図7-10-1



八王子市がにぎわいと活力があるまちであると感じるか聞いたところ、「あまり感じない」が4割強（43.9%）と最も高く、「感じない」（19.1%）を合わせた『感じない』は6割強（63.0%）となっている。「感じる」（4.2%）と「多少感じる」（23.8%）を合わせた『感じる』は3割弱（28.0%）となっている。（図7-10-1）

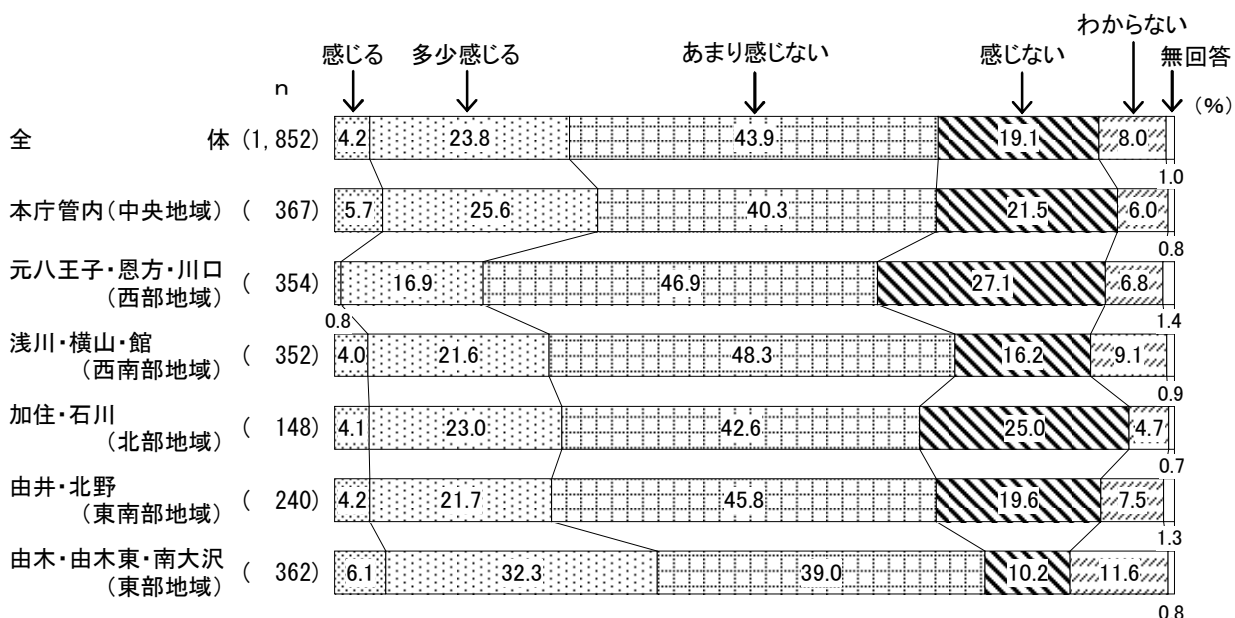
図 7-10-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『感じる』は20歳代で4割弱（37.5%）と高くなっている。（図 7-10-2）

図 7-10-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



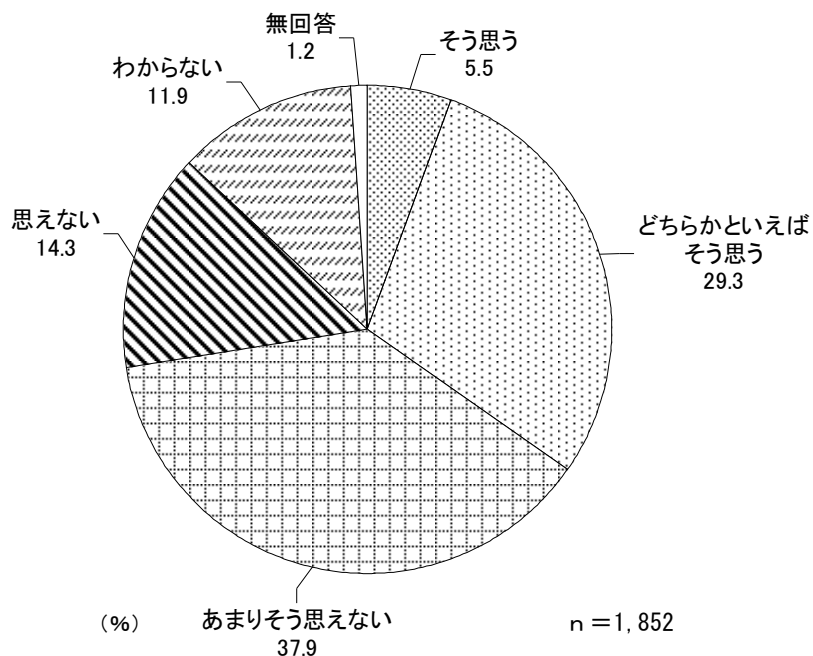
居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱（38.4%）と最も高く、一方で『感じない』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で7割台半ば（74.0%）と最も高くなっている。（図 7-10-3）

7-11 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』が5割強

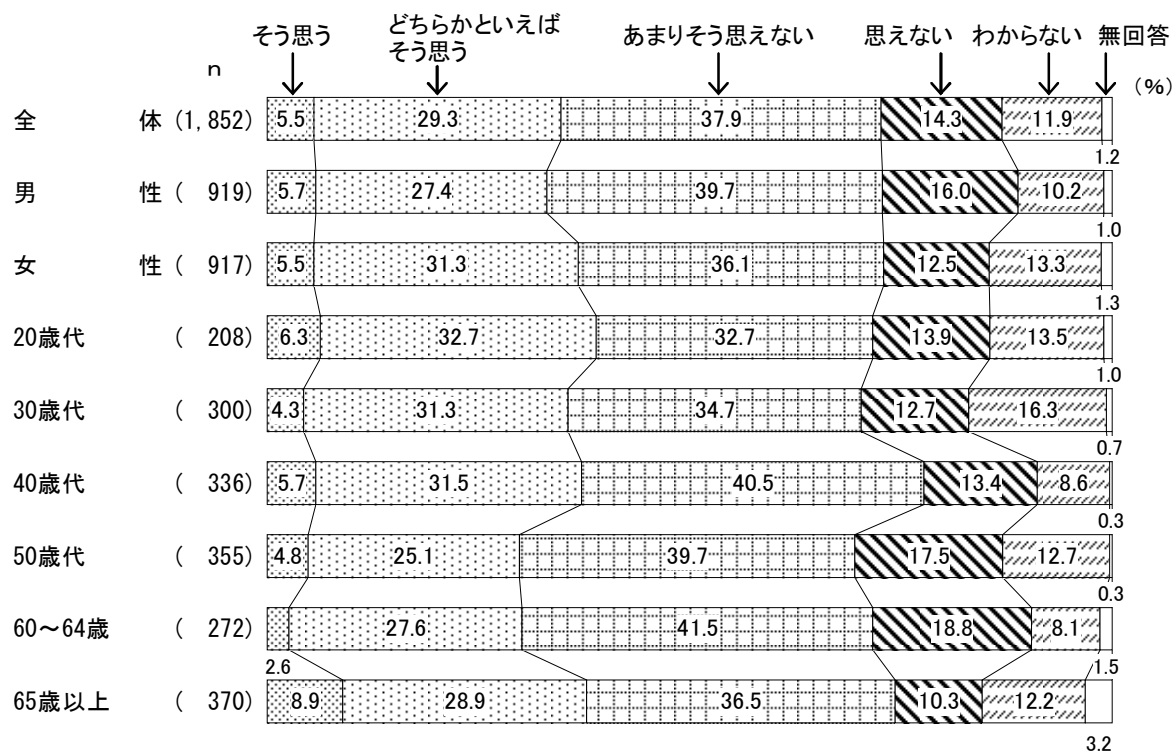
問25 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図7-11-1



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が4割弱（37.9%）と最も高く、「思えない」（14.3%）と合わせた『思えない』は5割強（52.2%）となっている。一方、「そう思う」（5.5%）と「どちらかといえばそう思う」（29.3%）を合わせた『そう思う』は3割台半ば（34.8%）となっている。（図7-11-1）

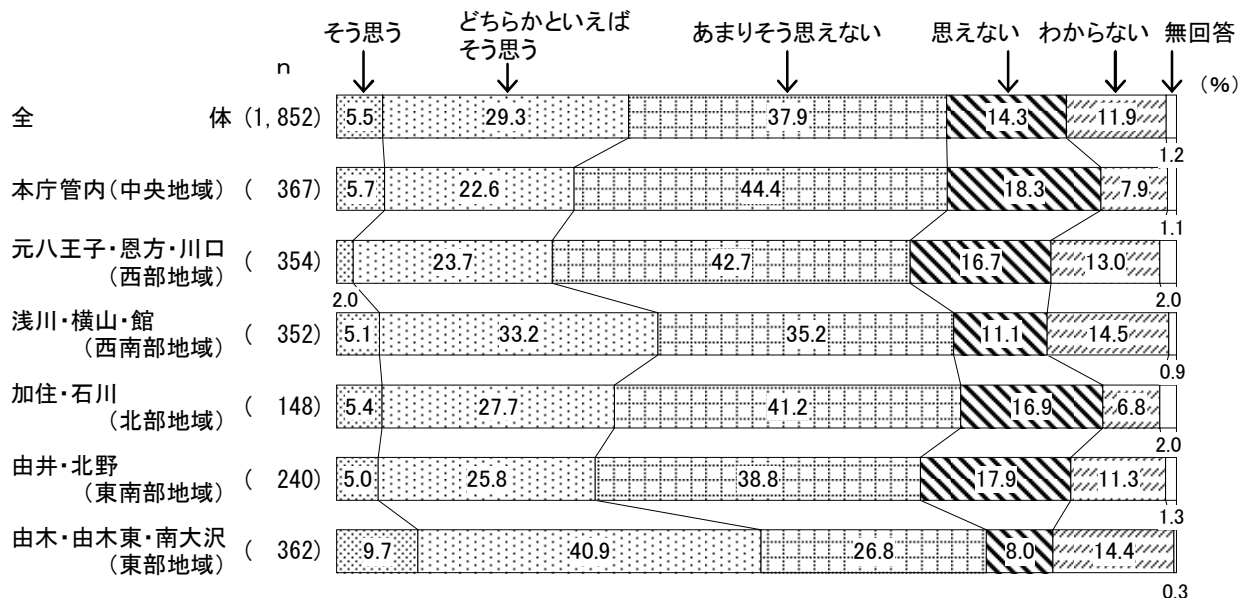
図 7-11-2 市は景観に配慮されたまちであるかー性別・年齢別



性別にみると、『思えない』は男性のほうが7.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『思えない』は60～64歳がほぼ6割（60.3%）と高く、『そう思う』は20歳代がほぼ4割（39.0%）と比較的高くなっている。（図 7-11-2）

図 7-11-3 市は景観に配慮されたまちであるかー居住地域別



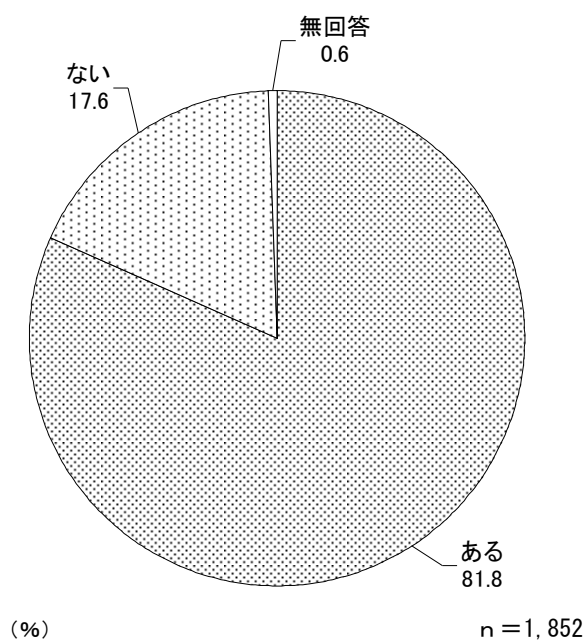
居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）でほぼ5割（50.6%）と特に高く、『思えない』は本庁管内（中央地域）で6割強（62.7%）と高くなっている。（図 7-11-3）

7-12 市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は大多数の8割強

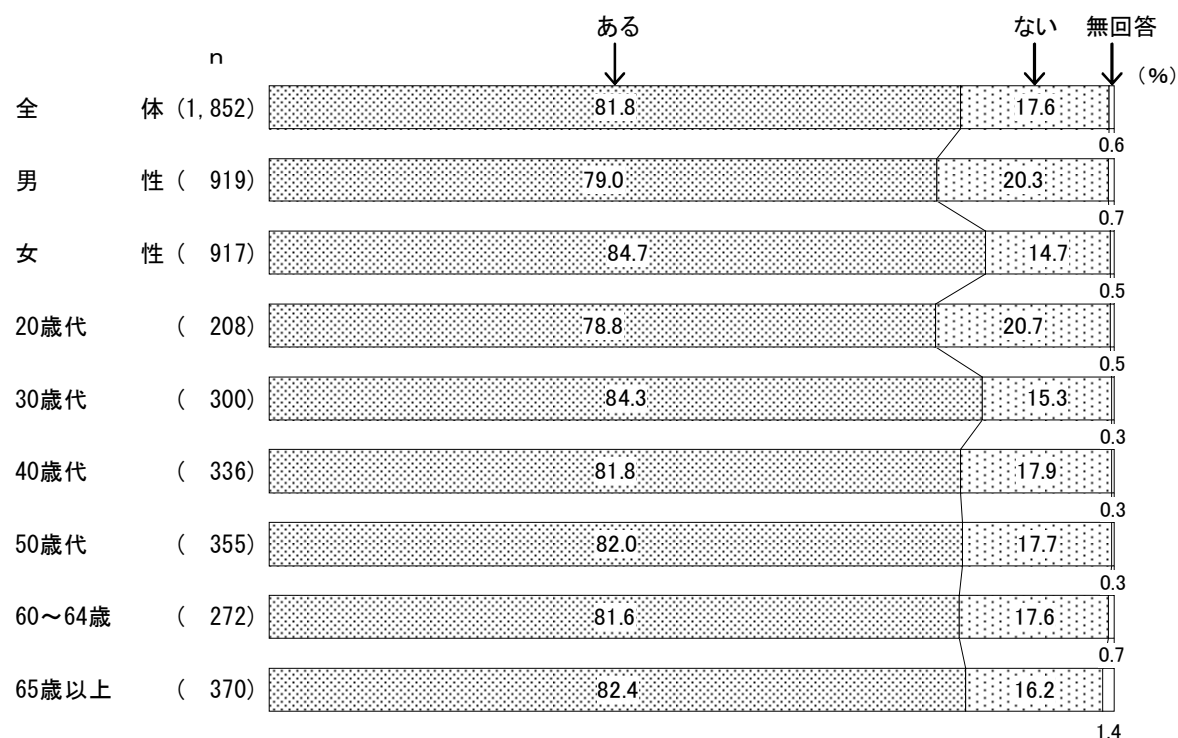
問26 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ)

図7-12-1



この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」が大多数の8割強(81.8%)を占め、「ない」は2割弱(17.6%)となっている。(図7-12-1)

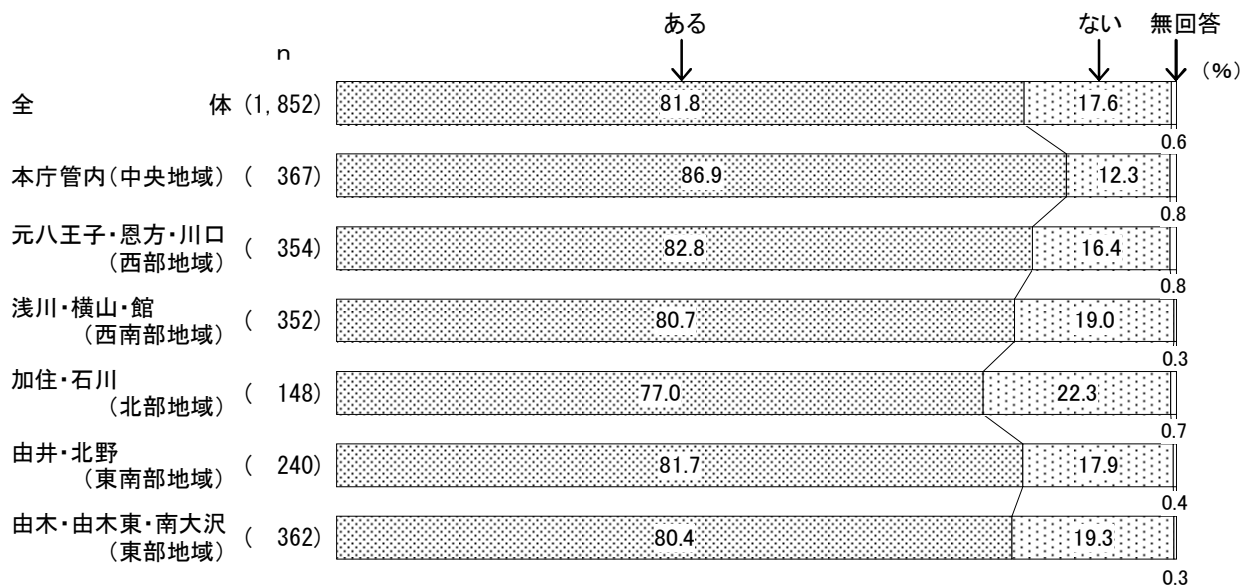
図 7-12-2 市の窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、「ある」は女性のほうが5.7ポイント高い。

年齢別にみると、「ある」は20歳代を除き、8割を超えている。(図 7-12-2)

図 7-12-3 市の窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は加住・石川（北部地域）以外の地域で8割を超えている。

(図 7-12-3)

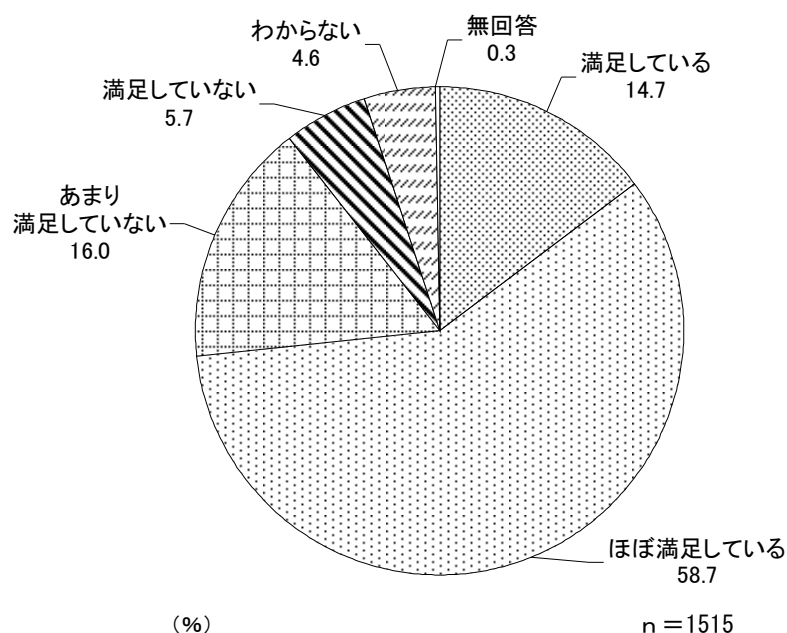
7-13 市の窓口サービスの満足度

◇『満足』が7割強を占める

(問26で「ある」とお答えの方に)

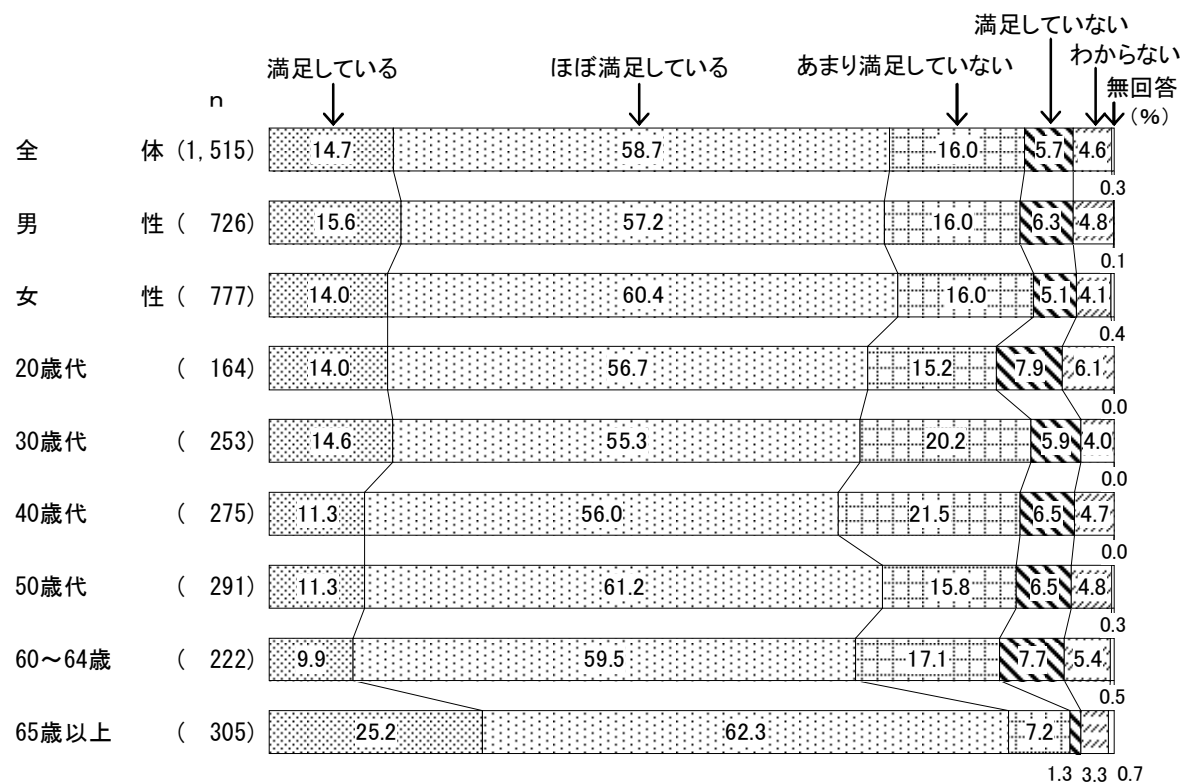
問26-1 あなたは、市の窓口サービス（接客度や提供内容、処理時間など）に満足していますか。(○は1つだけ)

図7-13-1



この1年間で市の窓口の利用が「ある」と答えた人(1,515人)に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が6割強(58.7%)と最も高く、「満足している」(14.7%)と合わせた『満足』は7割強(73.4%)となっている。「あまり満足していない」(16.0%)と「満足していない」(5.7%)を合わせた『不満』は2割強(21.7%)となっている。(図7-13-1)

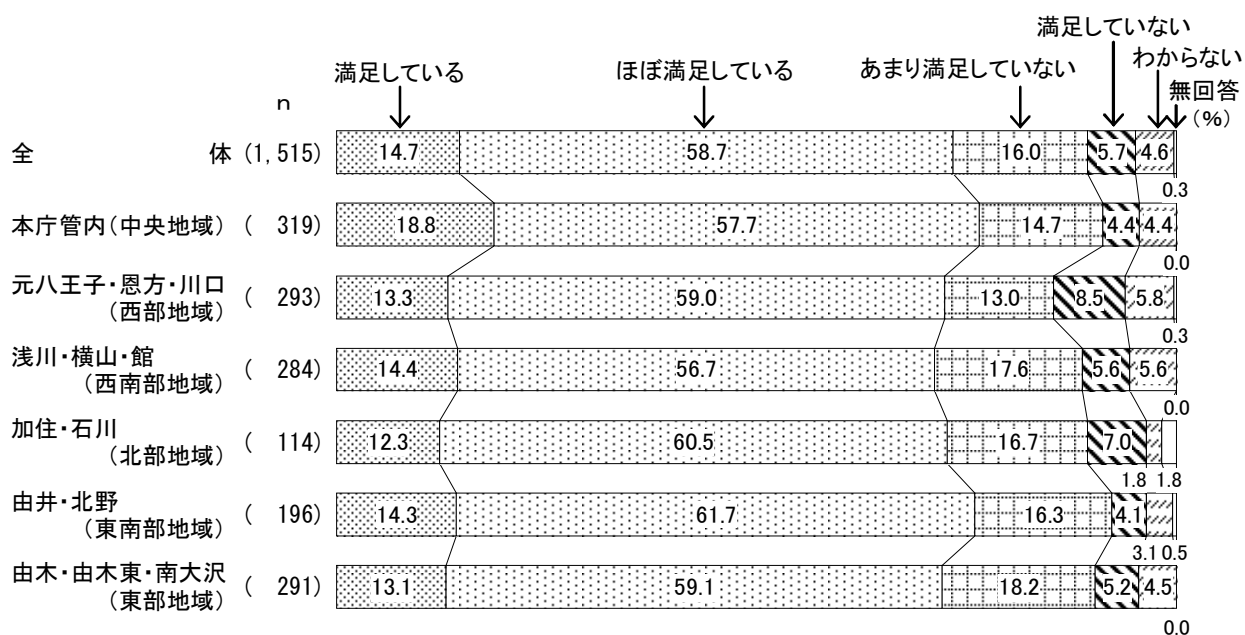
図 7-13-2 市の窓口サービスの満足度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上で9割弱（87.5%）と、他の年代に比べて特になくなってきている。
（図 7-13-2）

図 7-13-3 市の窓口サービスの満足度－居住地域別



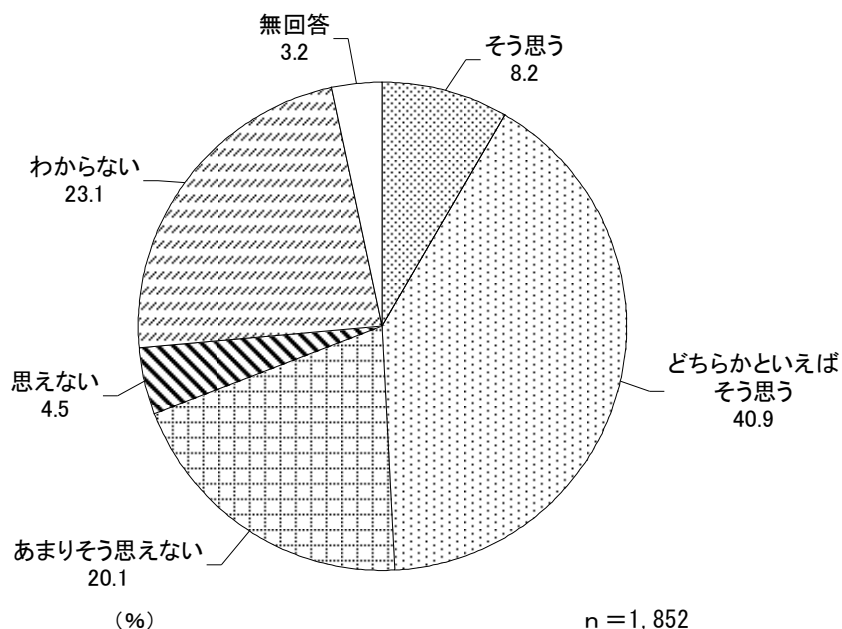
居住地域別にみると、『満足』はすべての地域で7割以上となっている。（図 7-13-3）

7-14 市の相談窓口の充実度

◇『そう思う』がほぼ5割

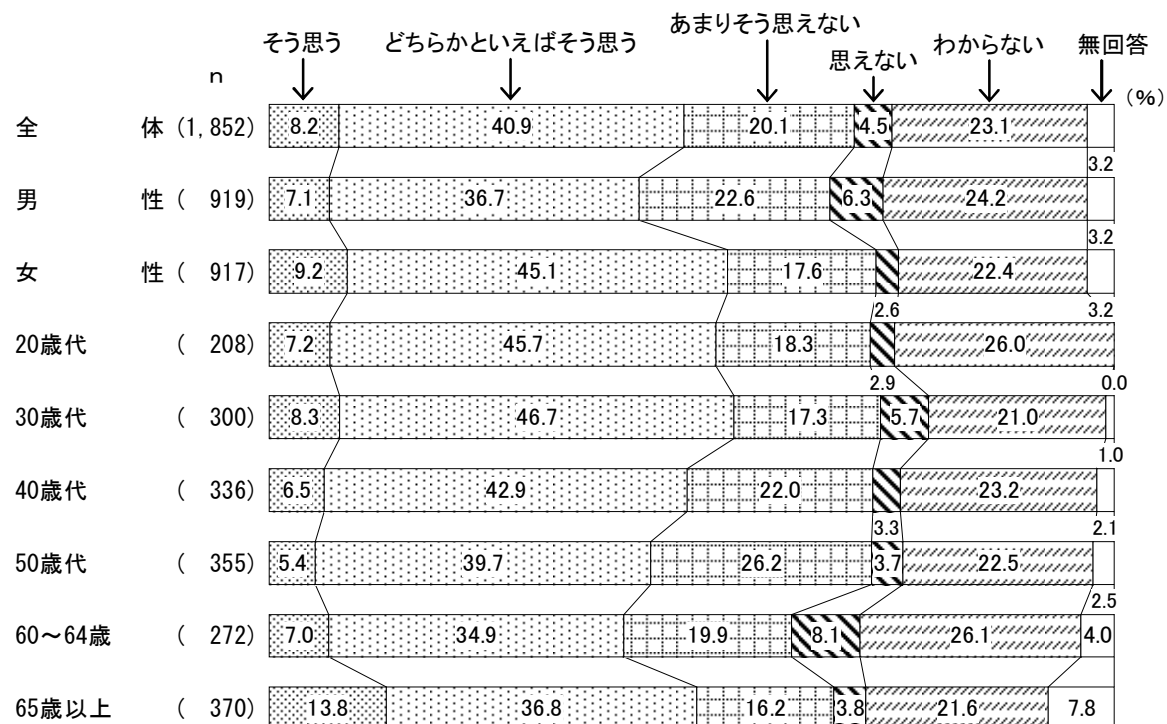
問27 市では、市民生活を支援するため、下記のような様々な暮らしの相談を行っています。
あなたは、市の相談の機会が充実していると思いますか。（○は1つだけ）

図7-14-1



市の相談窓口が充実しているかどうか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」（40.9%）と「そう思う」（8.2%）を合わせた『そう思う』はほぼ5割（49.1%）となっている。一方、「あまりそう思えない」（20.1%）と「思えない」（4.5%）を合わせた『思えない』は2割台半ば（24.6%）となっている。（図7-14-1）

図 7-14-2 市の相談窓口の充実度—性別・年齢別

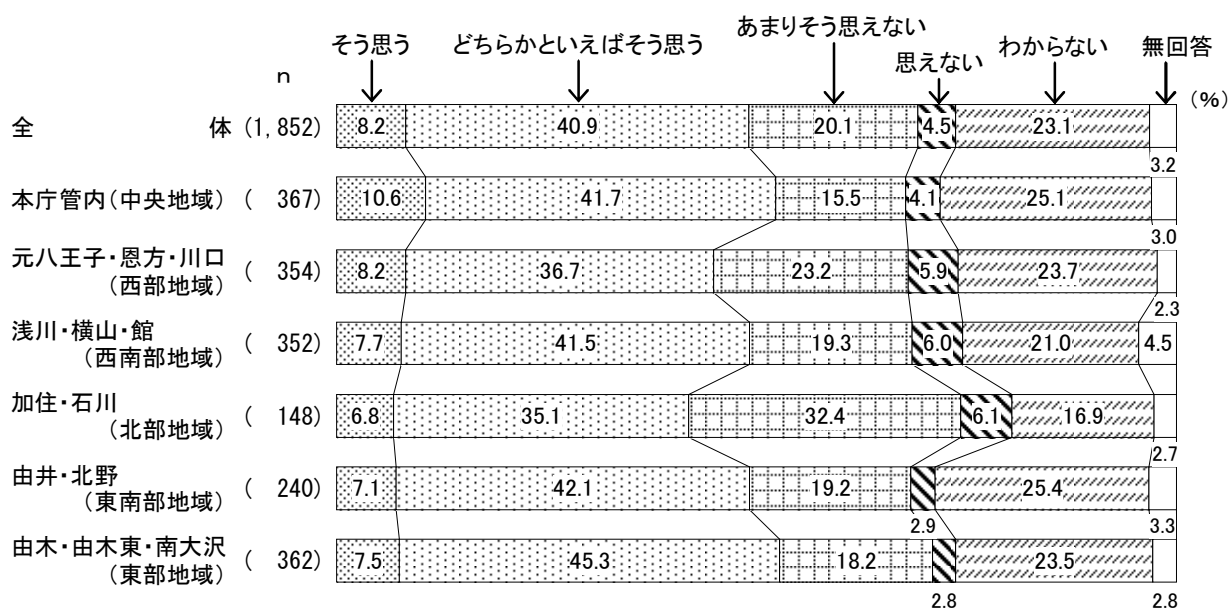


性別にみると、『そう思う』は女性のほうが10.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は30歳代で5割台半ば（55.0%）と最も高くなっている。

（図 7-14-2）

図 7-14-3 市の相談窓口の充実度—居住地域別



居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）と本庁管内（中央地域）で5割強と他の地域に比べ高くなっている。（図 7-14-3）

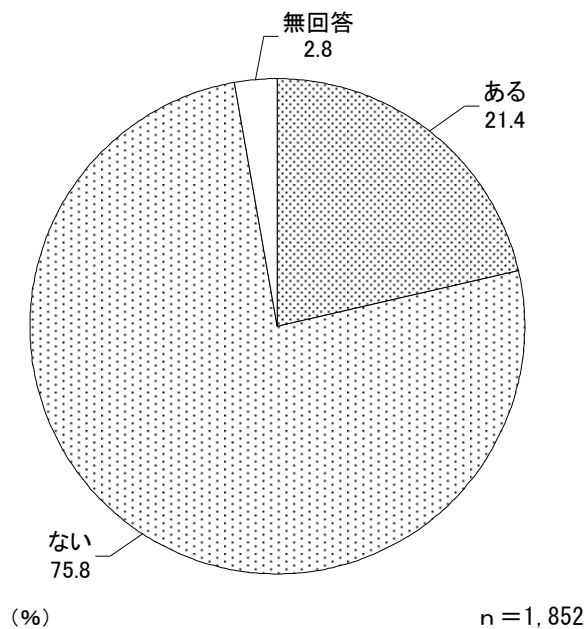
7-15 市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は2割強にとどまる

問28 あなたは、上記のような市の暮らしの相談窓口を利用したことがありますか。

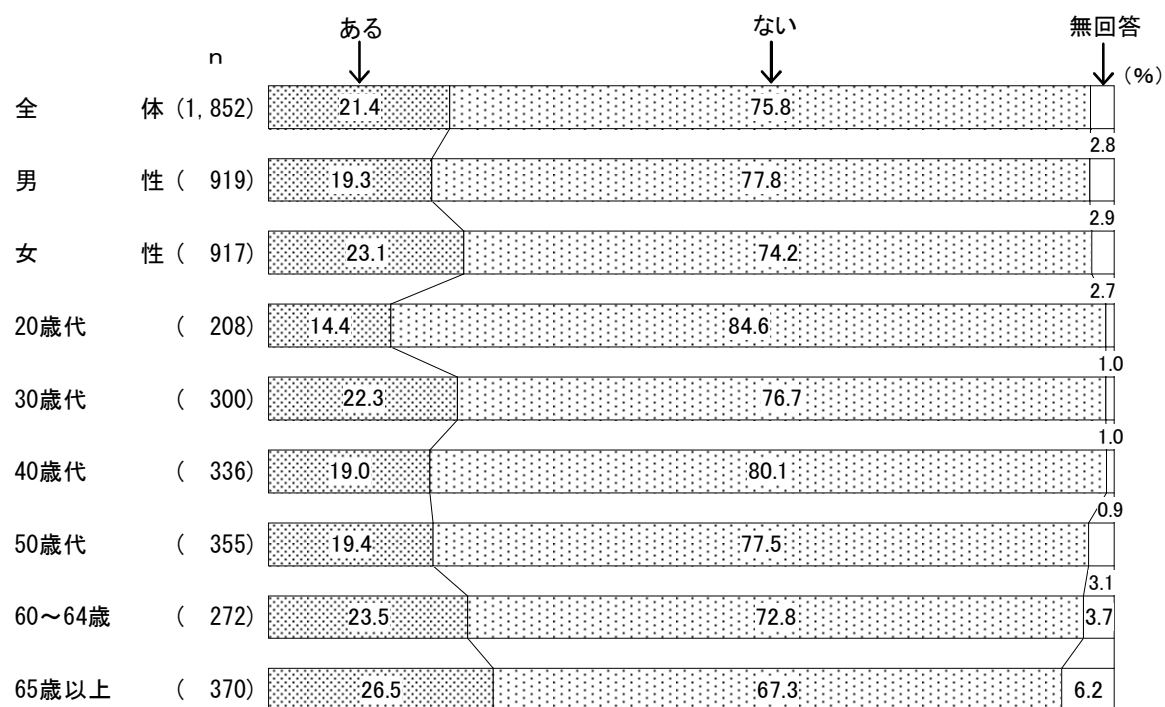
(○は1つだけ)

図7-15-1



市の相談窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ない」が7割台半ば（75.8%）を占め、一方、「ある」は2割強（21.4%）となっている。（図7-15-1）

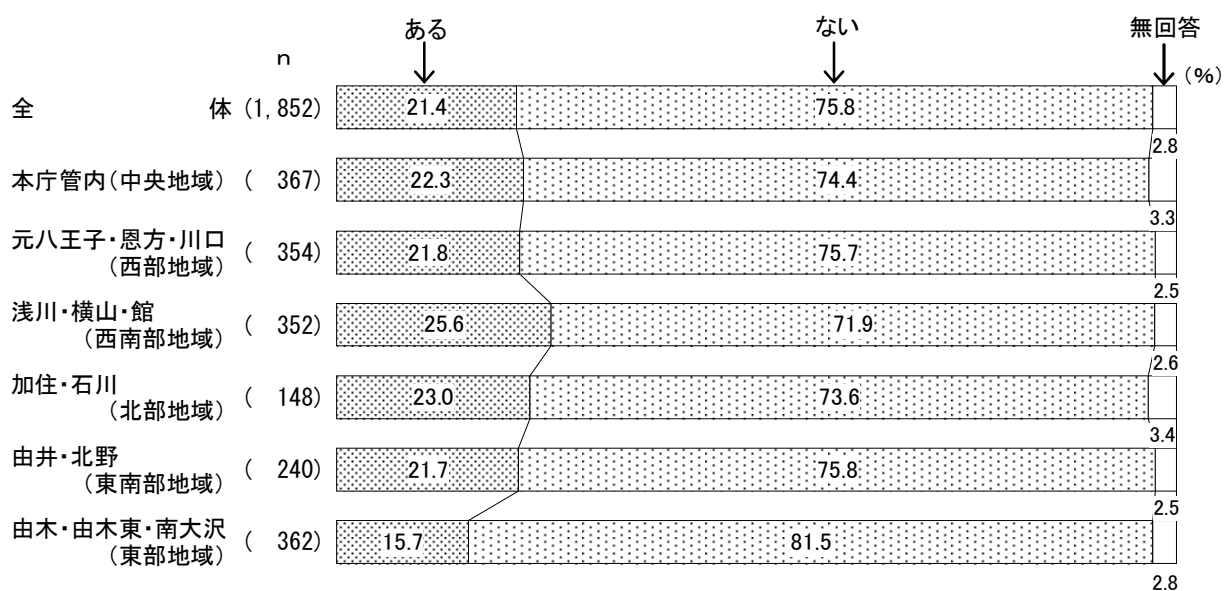
図 7-15-2 市の相談窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「ある」の割合が3.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は65歳以上で3割弱（26.5%）と高くなっている。（図 7-15-2）

図 7-15-3 市の相談窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は浅川・横山・館（西南部地域）で2割台半ば（25.6%）と他の地域と比べて高くなっている。（図 7-15-3）

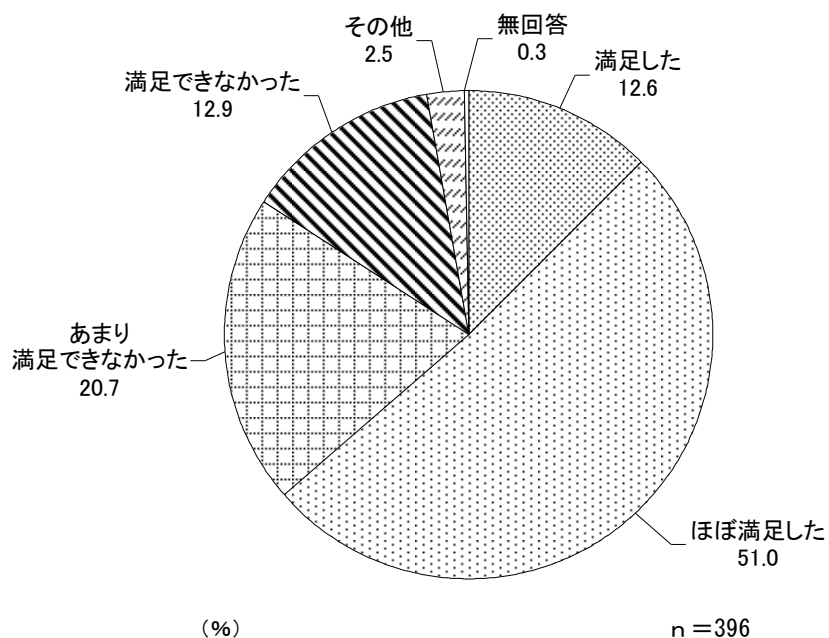
7-16 相談窓口の満足度

◇『満足した』が6割強

(問28で「ある」とお答えの方に)

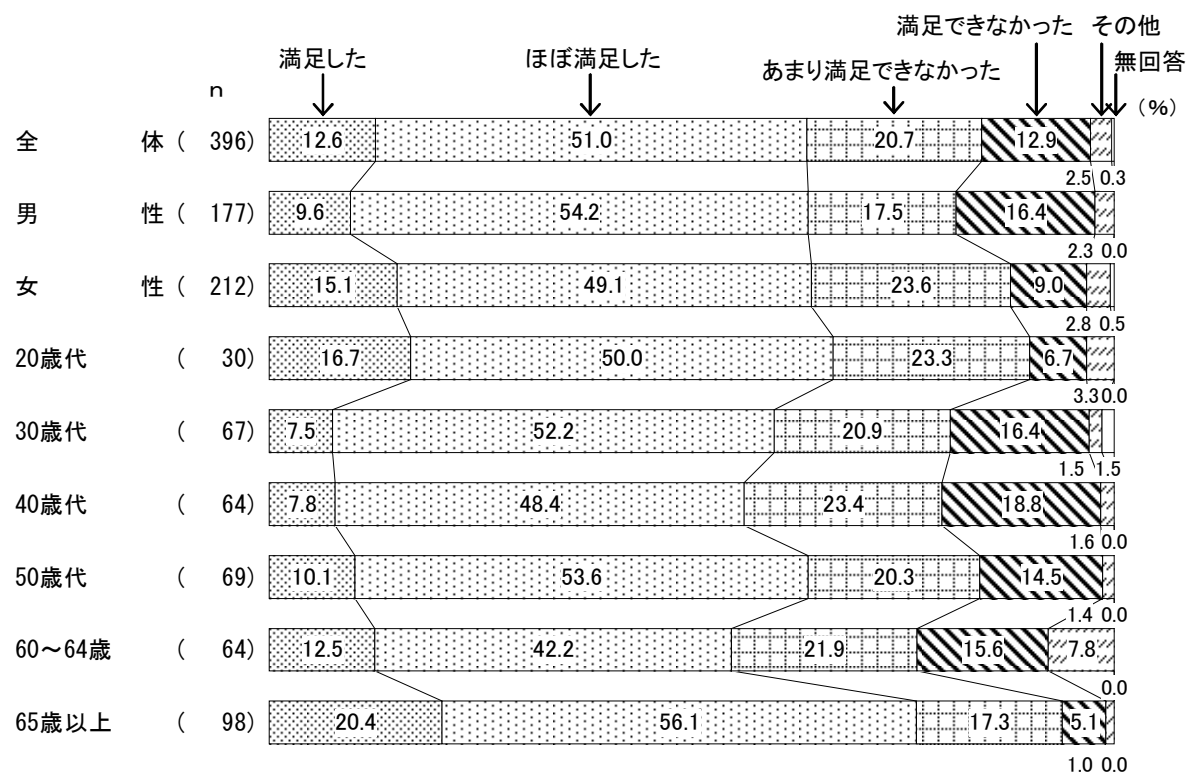
問28-1 市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ)

図7-16-1



市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(396人)に、市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が5割強(51.0%)と最も高く、「満足した」(12.6%)と合わせた『満足した』は6割強(63.6%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(20.7%)と「満足できなかった」(12.9%)を合わせた『満足できなかった』は3割強(33.6%)となっている。(図7-16-1)

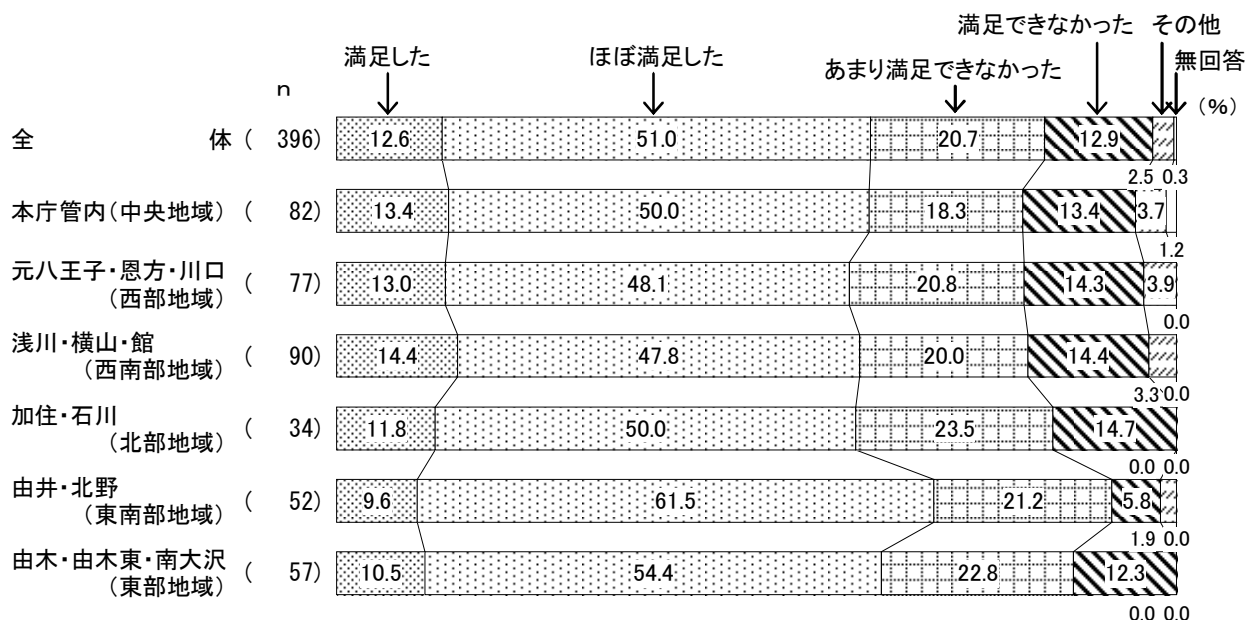
図 7-16-2 相談窓口の満足度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『満足した』割合は、65歳以上（76.5%）が特に高くなっている。（図 7-16-2）

図 7-16-3 相談窓口の満足度－居住地域別



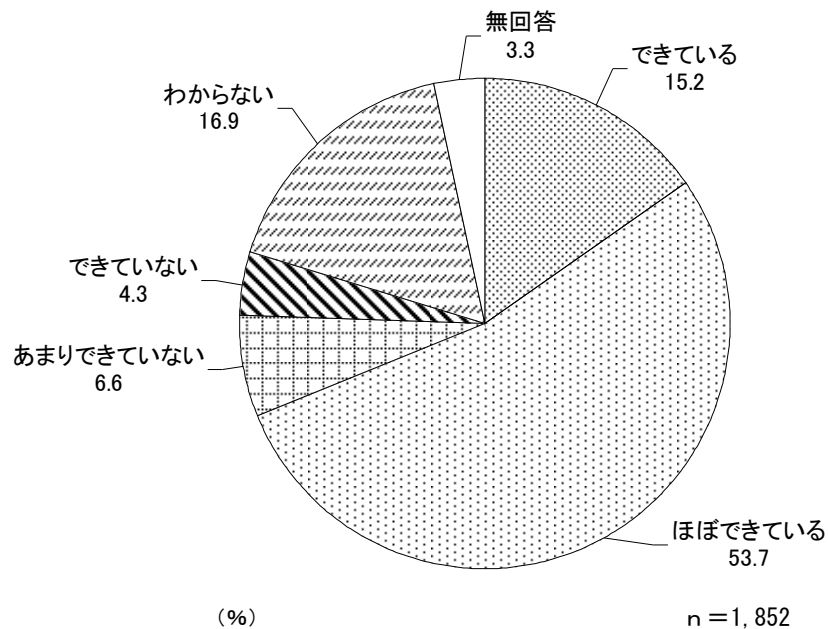
居住地域別にみると、『満足した』はすべての地域で6割以上を占めており、特に、由井・北野（東南部地域）では7割強（71.1%）と他の地域に比べて高くなっている。（図 7-16-3）

7-17 市政情報の入手しやすさ

◇『できている』が7割弱

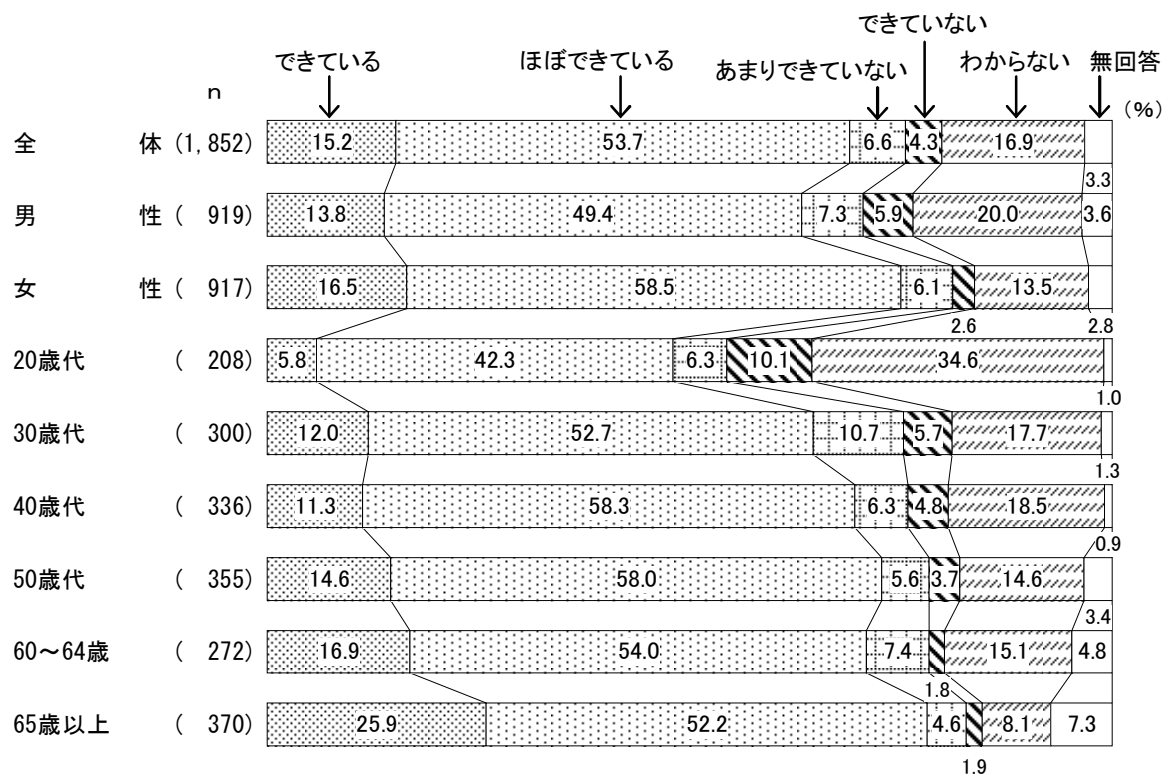
問29 あなたは、日頃必要な市政情報を入手できていますか。（○は1つだけ）

図7-17-1



市政情報の入手しやすさについて聞いたところ、「ほぼできている」は5割強（53.7%）と最も高く、「できている」（15.2%）と合わせた『できている』は7割弱（68.9%）となっている。一方、「あまりできていない」（6.6%）と「できていない」（4.3%）を合わせた『できていない』は、ほぼ1割（10.9%）となっている。（図7-17-1）

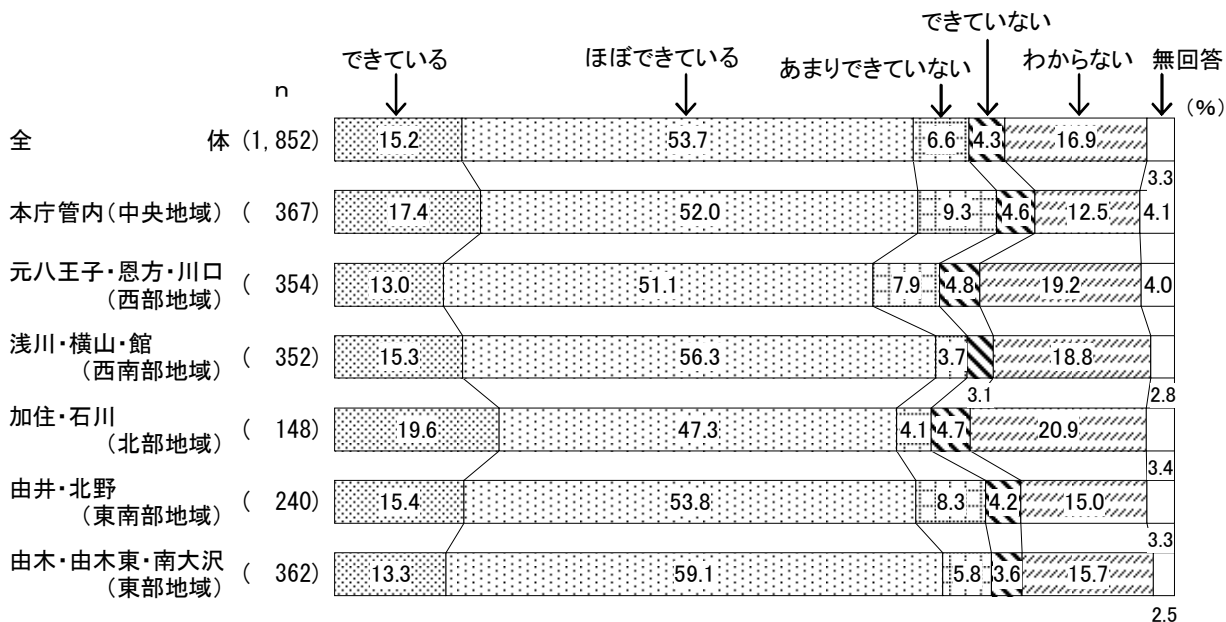
図 7-17-2 市政情報の入手しやすさー性別・年齢別



性別にみると、『できている』は女性のほうが11.8ポイント高い。

年齢別にみると、『できている』は50歳代以上で7割を超えて高くなっている。(図 7-17-2)

図 7-17-3 市政情報の入手しやすさー居住地域別



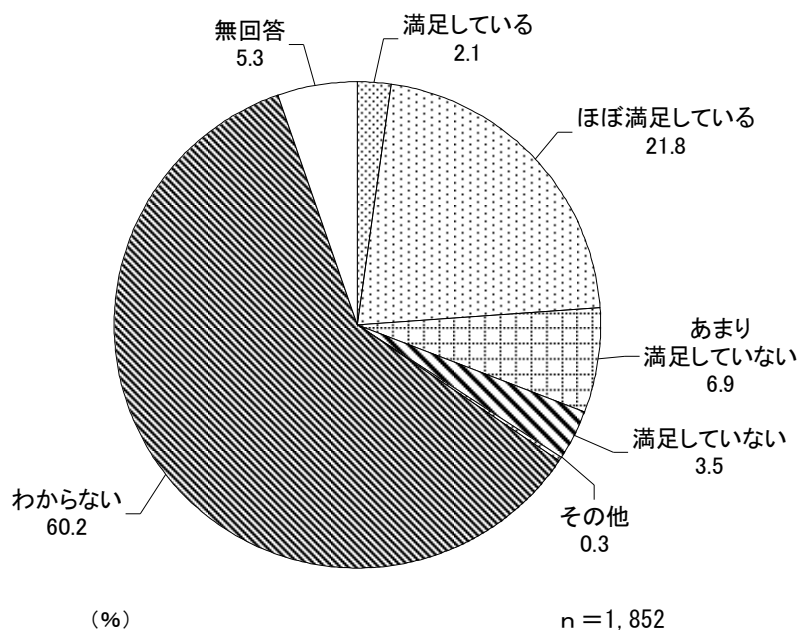
居住地域別にみると、由木・由木東・南大沢（東部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で『できている』が7割強と他の地域に比べ高くなっている。(図 7-17-3)

7-18 市の子育て支援施策の満足度

◇「ほぼ満足している」が2割強

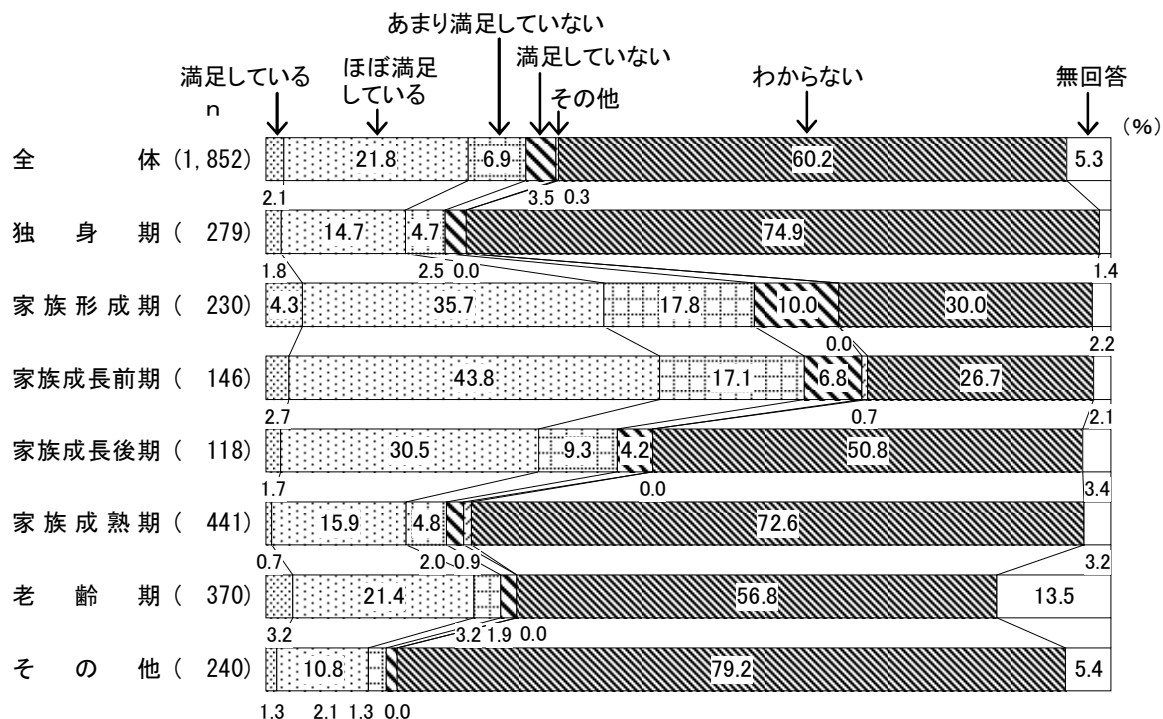
問30 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。(○は1つだけ)

図7-18-1



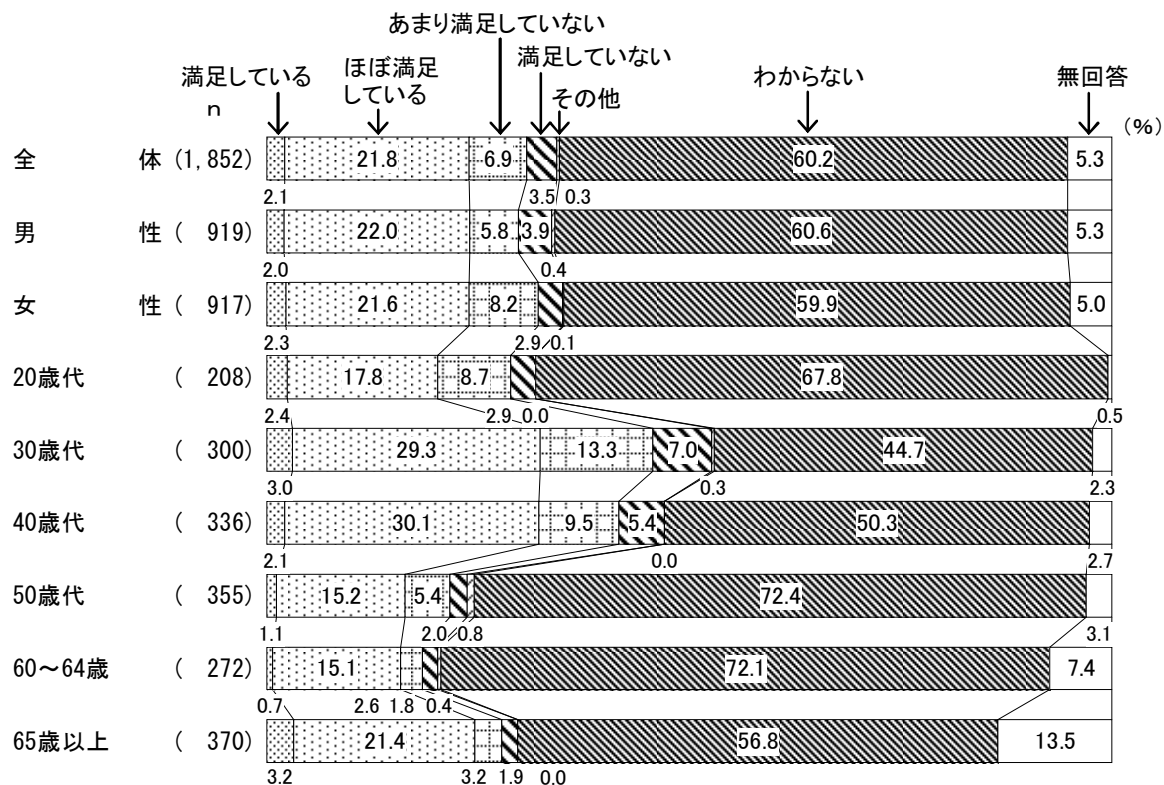
市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(2.1%)と「ほぼ満足している」(21.8%)を合わせた『満足』は2割強(23.9%)となっている。一方、「あまり満足していない」(6.9%)と「満足していない」(3.5%)を合わせた『不満』はほぼ1割(10.4%)となっている。(図7-18-1)

図 7-18-2 市の子育て支援施策の満足度－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、家族成長前期では『満足』（46.5%）のほうが『不満』（23.9%）より22.6ポイント高く、家族形成期では『満足』（40.0%）のほうが『不満』（27.8%）より12.2ポイント高くなっている。（図 7-18-2）

図 7-18-3 市の子育て支援施策の満足度－性別・年齢別

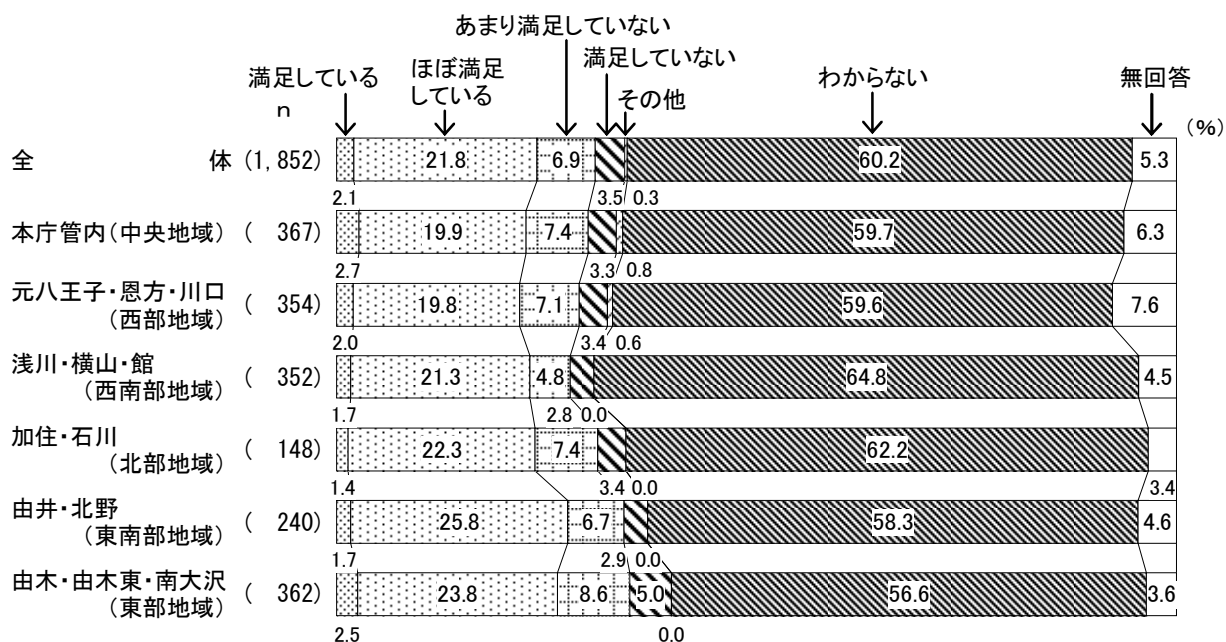


性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、30歳代では『満足』(32.3%)のほうが『不満』(20.3%)より12.0ポイント高く、40歳代では『満足』(32.2%)のほうが『不満』(14.9%)より17.3ポイント高くなっている。

(図 7-18-3)

図 7-18-4 市の子育て支援施策の満足度－居住地域別



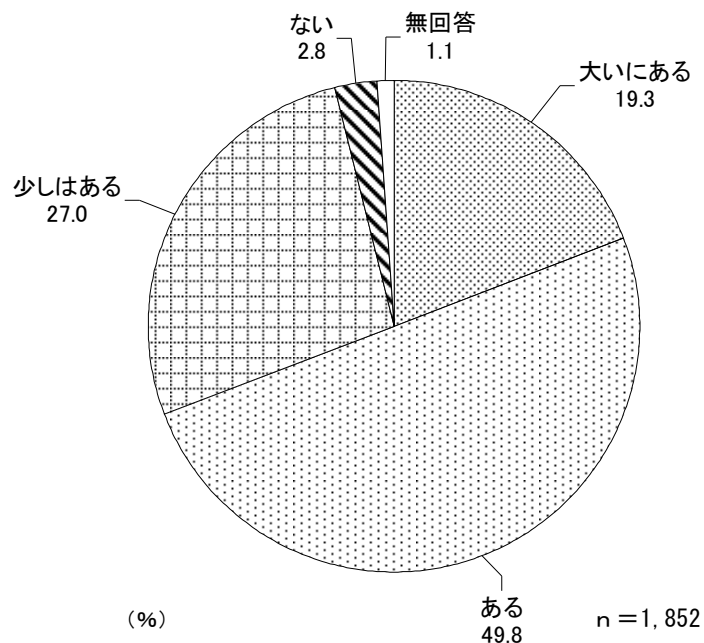
居住地域別にみると、『満足』は由井・北野(東南部地域)で3割弱(27.5%)と最も高くなっている。(図 7-18-4)

7-19 環境問題への関心度

◇環境問題に関心が『ある』人は9割台半ば

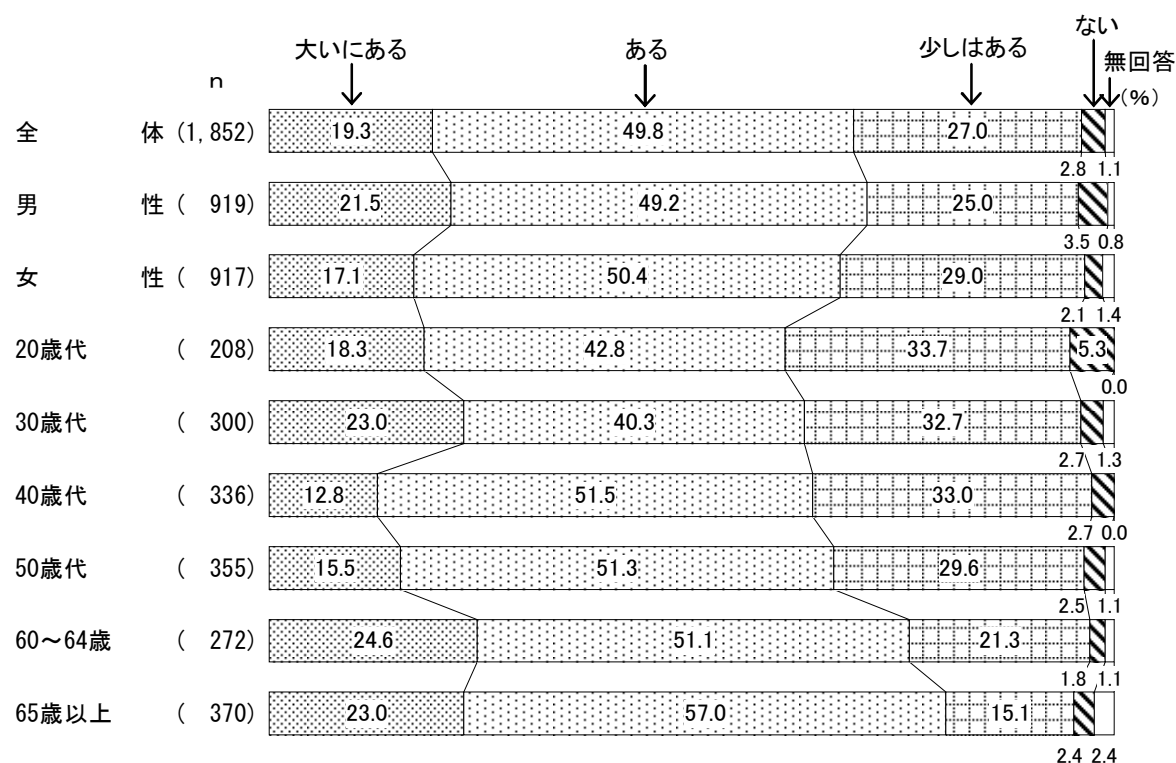
問31 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

図7-19-1



環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「ある」がほぼ5割(49.8%)、「少しはある」が3割弱(27.0%)、「大いにある」がほぼ2割(19.3%)となっていて、3項目を合わせた『ある』は9割台半ば(96.1%)と高くなっている。一方で「ない」は2.8%となっている。(図7-19-1)

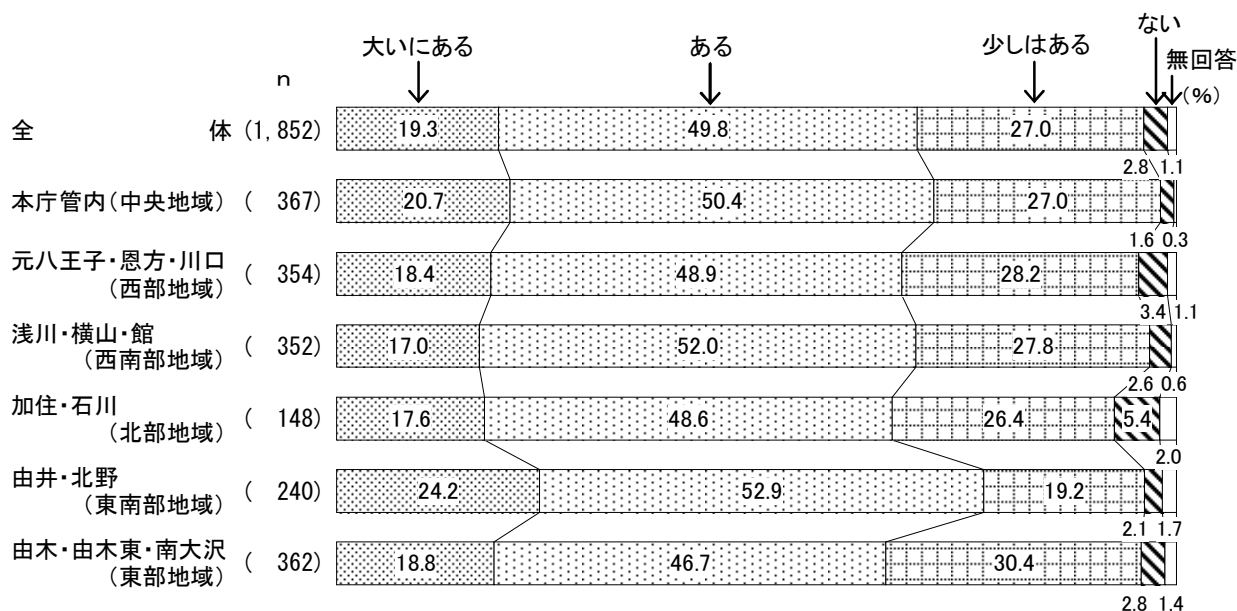
図 7-19-2 環境問題への関心度－性別・年齢別



性別にみると、「大いにある」は男性のほうが4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「大いにある」と「ある」の計は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられる。(図 7-19-2)

図 7-19-3 環境問題への関心度－居住地域別



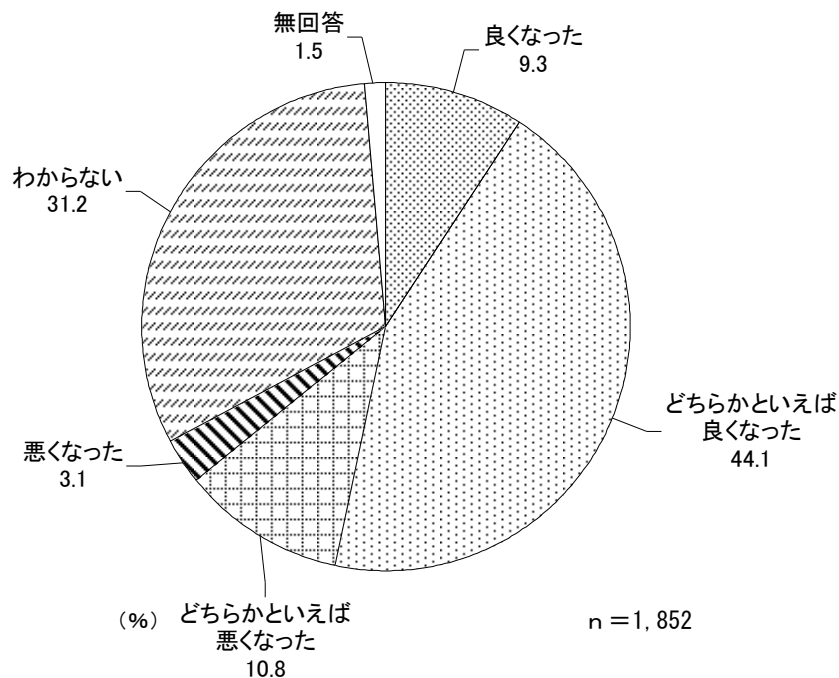
居住地域別にみると、「大いにある」と「ある」の計は、由井・北野（東南部地域）で8割弱（77.1%）と高くなっている。(図 7-19-3)

7-20 市の現在の環境

◇『良くなった』が5割強

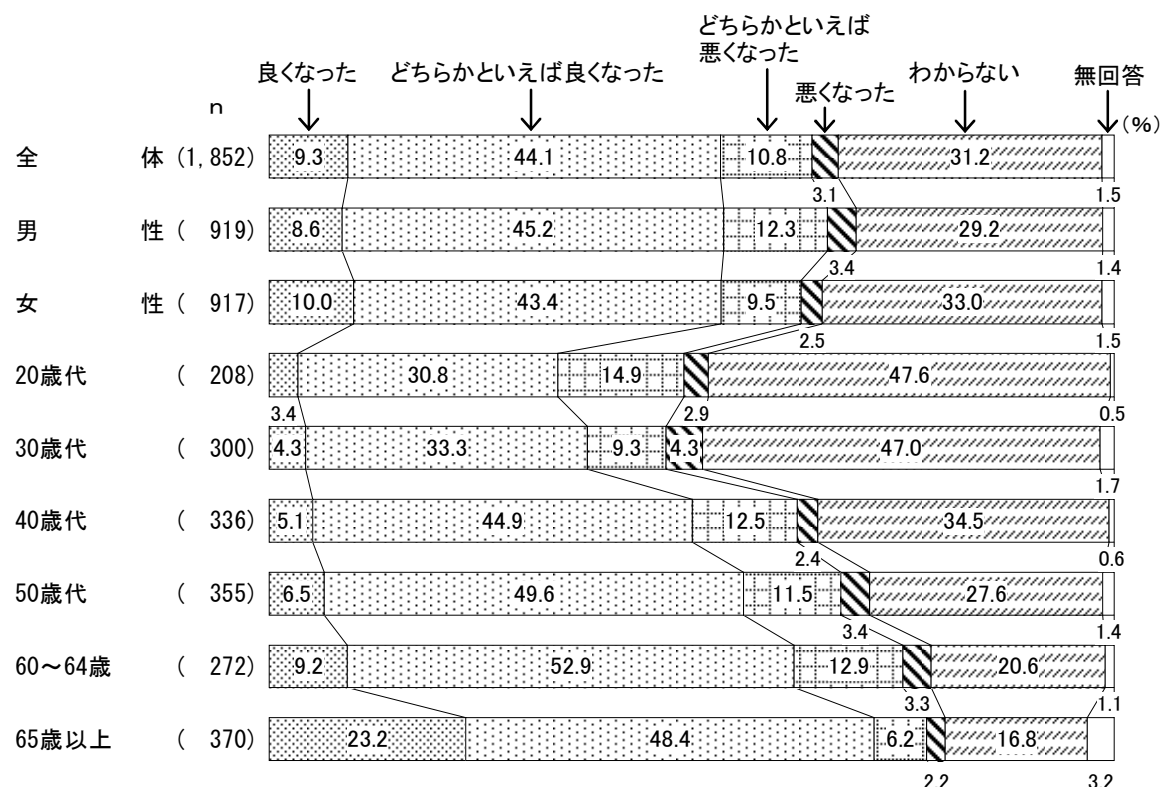
問32 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じていますか。（○は1つだけ）

図7-20-1



市の環境が以前と比べてどうなったと感じるか聞いたところ、「良くなった」（9.3%）と「どちらかといえば良くなった」（44.1%）を合わせた『良くなった』は5割強（53.4%）となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」（10.8%）と「悪くなった」（3.1%）を合わせた『悪くなった』は1割強（13.9%）となっている。（図7-20-1）

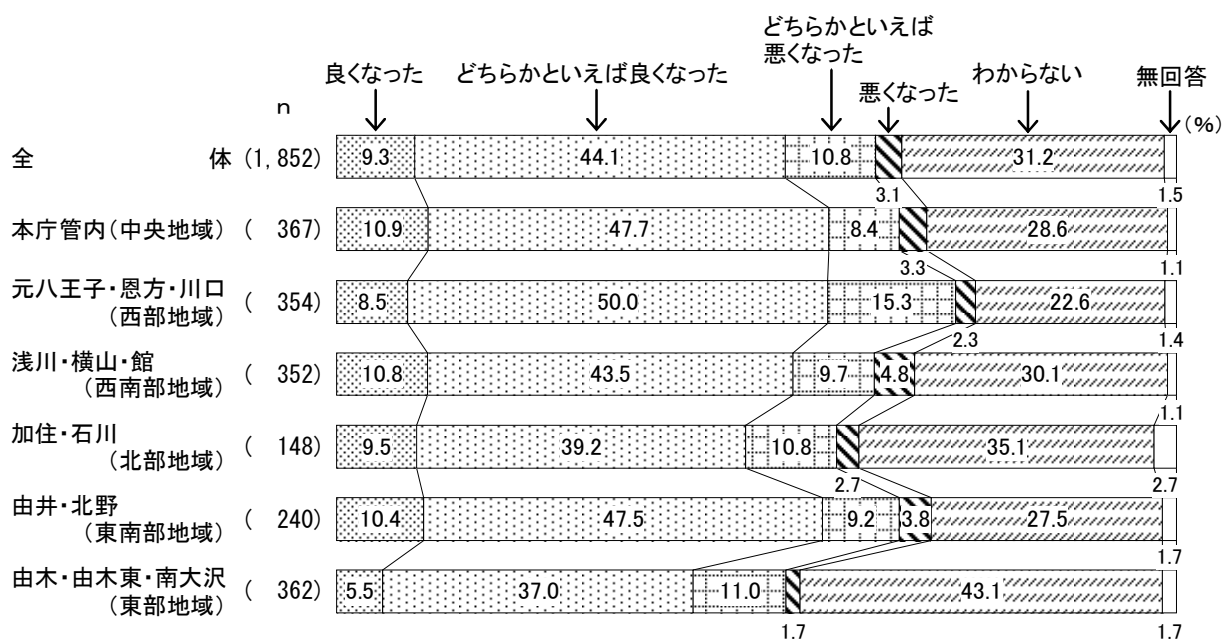
図 7-20-2 市の現在の環境－性別・年齢別



性別にみると、『悪くなった』は男性のほうが3.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『良くなった』は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、特に65歳以上で7割強（71.6%）と高くなっている。（図 7-20-2）

図 7-20-3 市の現在の環境－居住地域別



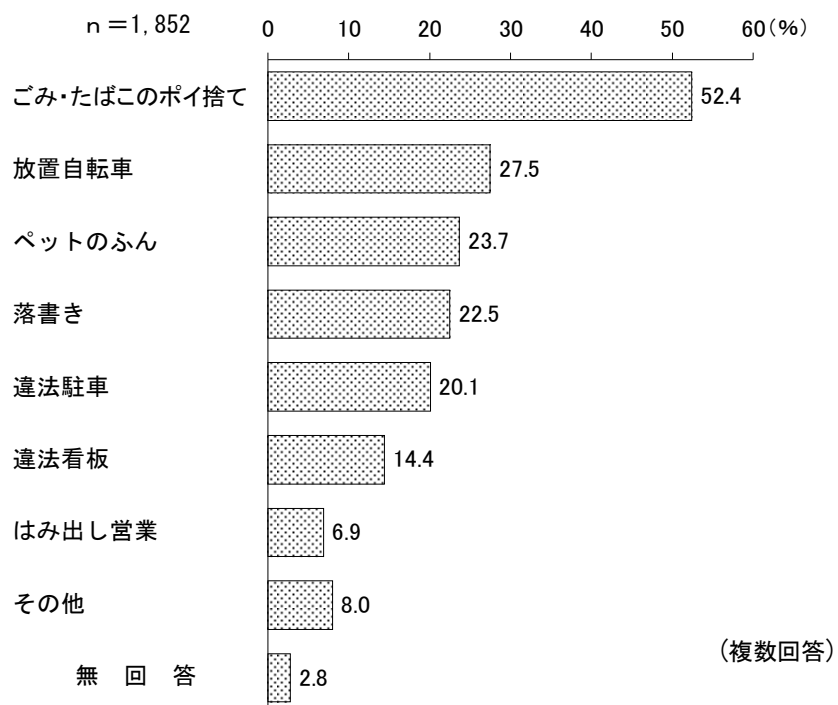
居住地域別にみると、『良くなった』は本庁管内（中央地域）、元八王子・恩方・川口（西部地域）、由井・北野（東南部地域）で6割弱と高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（42.5%）と低くなっている。（図 7-20-3）

7-21 都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割強で突出

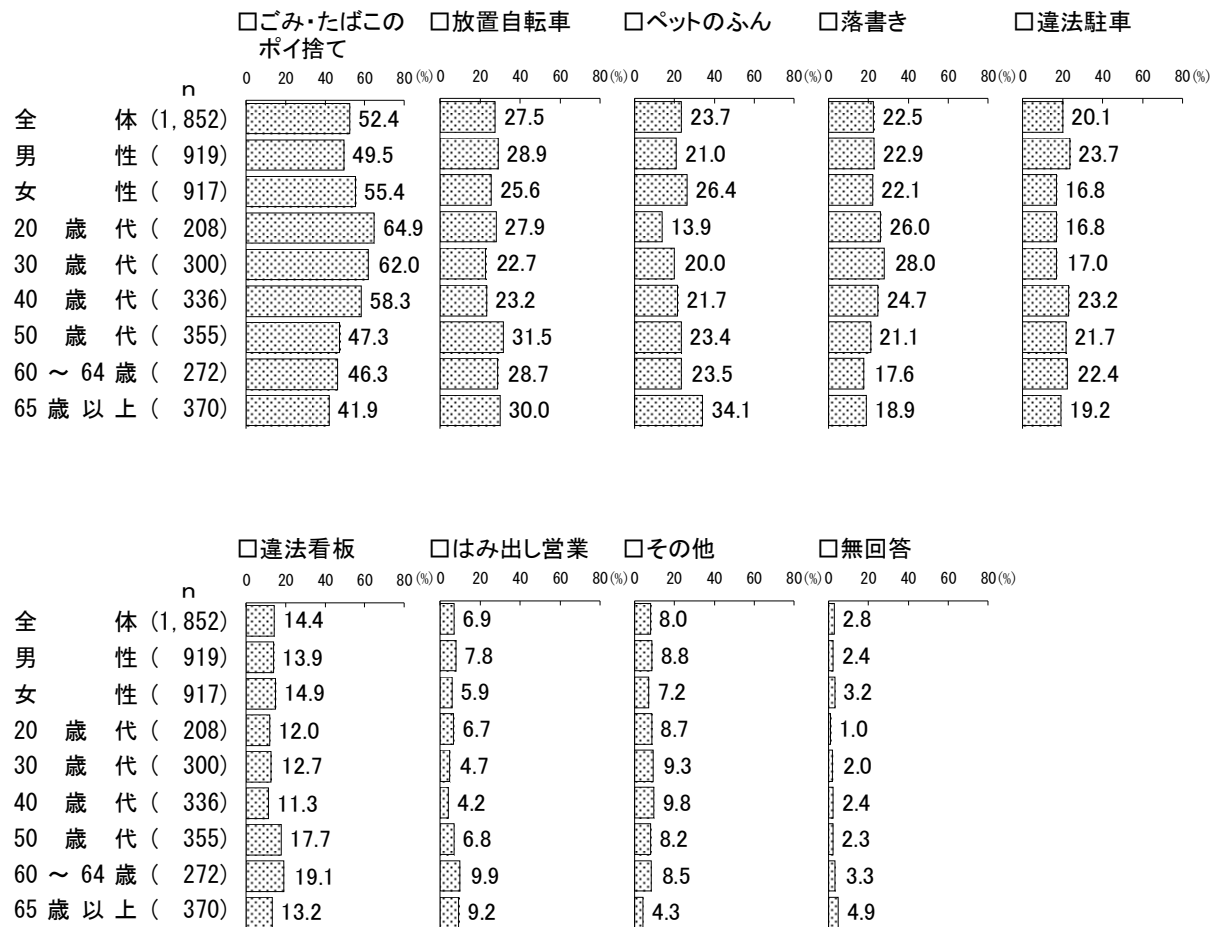
問33 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。（○は2つまで）

図7-21-1



都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割強（52.4%）と最も高く、ついで「放置自転車」（27.5%）、「ペットのふん」（23.7%）、「落書き」（22.5%）、「違法駐車」（20.1%）の順で続いている。（図7-21-1）

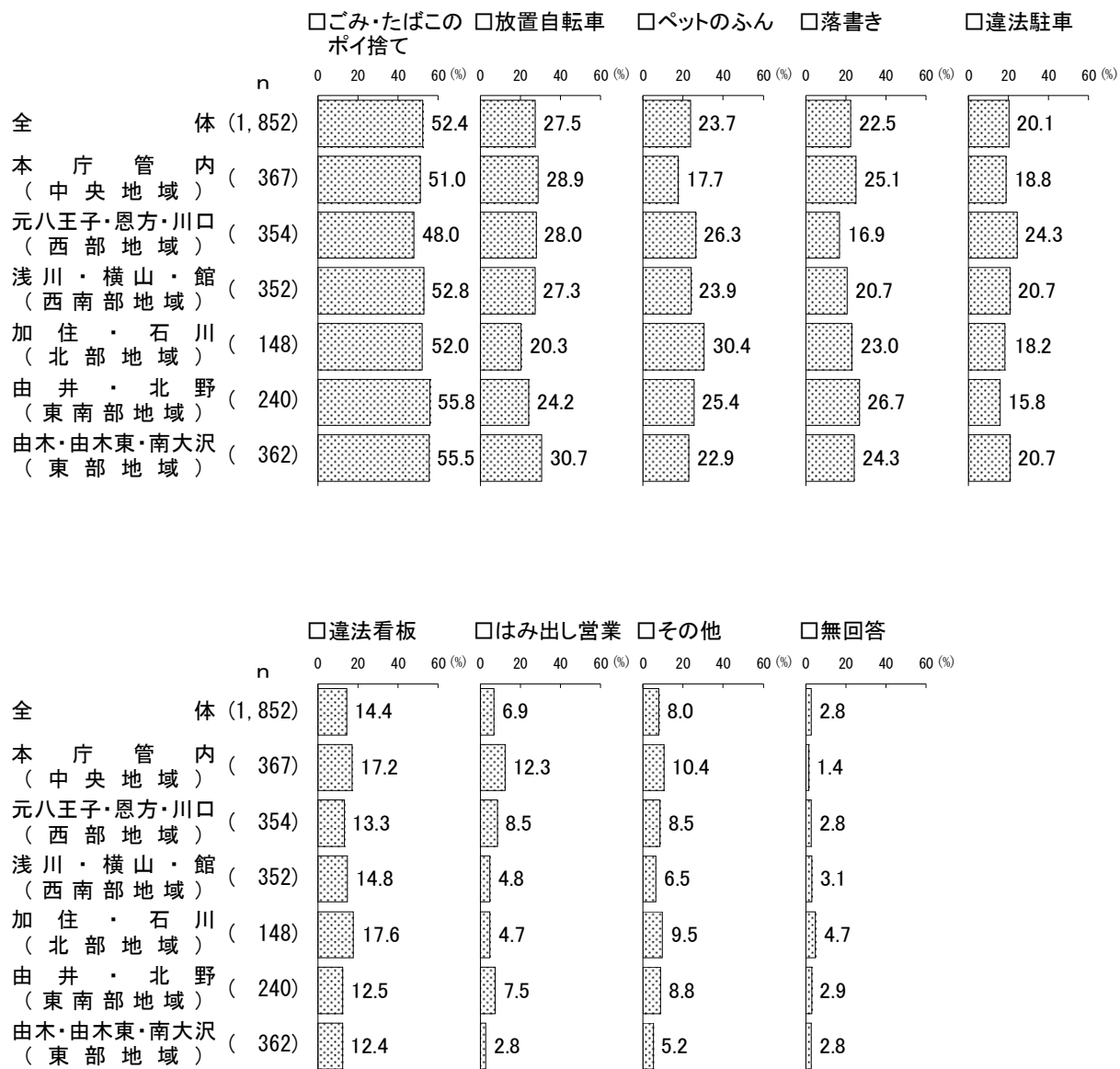
図 7-21-2 都市の美観が損なわれる原因－性別・年齢別



性別にみると、「違法駐車」は男性のほうが6.9ポイント高く、「ごみ・たばこのポイ捨て」は5.9ポイント、「ペットのふん」は5.4ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代と30歳代では6割以上と特に高くなっている。「ペットのふん」は65歳以上では3割台半ば(34.1%)と高くなっている。(図 7-21-2)

図 7-21-3 都市の美観が損なわれる原因－居住地域別



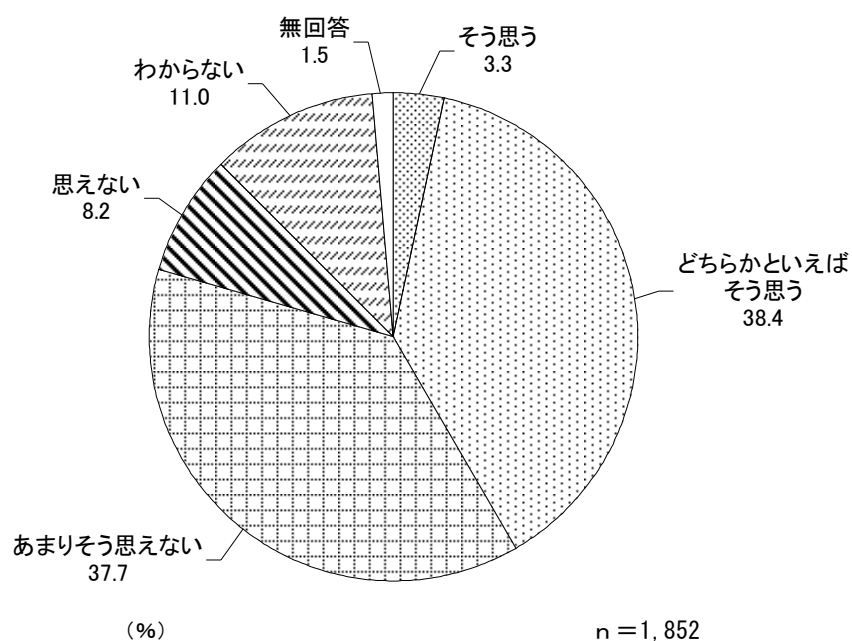
居住地域別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は由井・北野（東南部地域）と由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割台半ばと高く、「ペットのふん」は加住・石川（北部地域）でほぼ3割（30.4%）と高くなっている。（図 7-21-3）

7-22 市は美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が4割台半ば

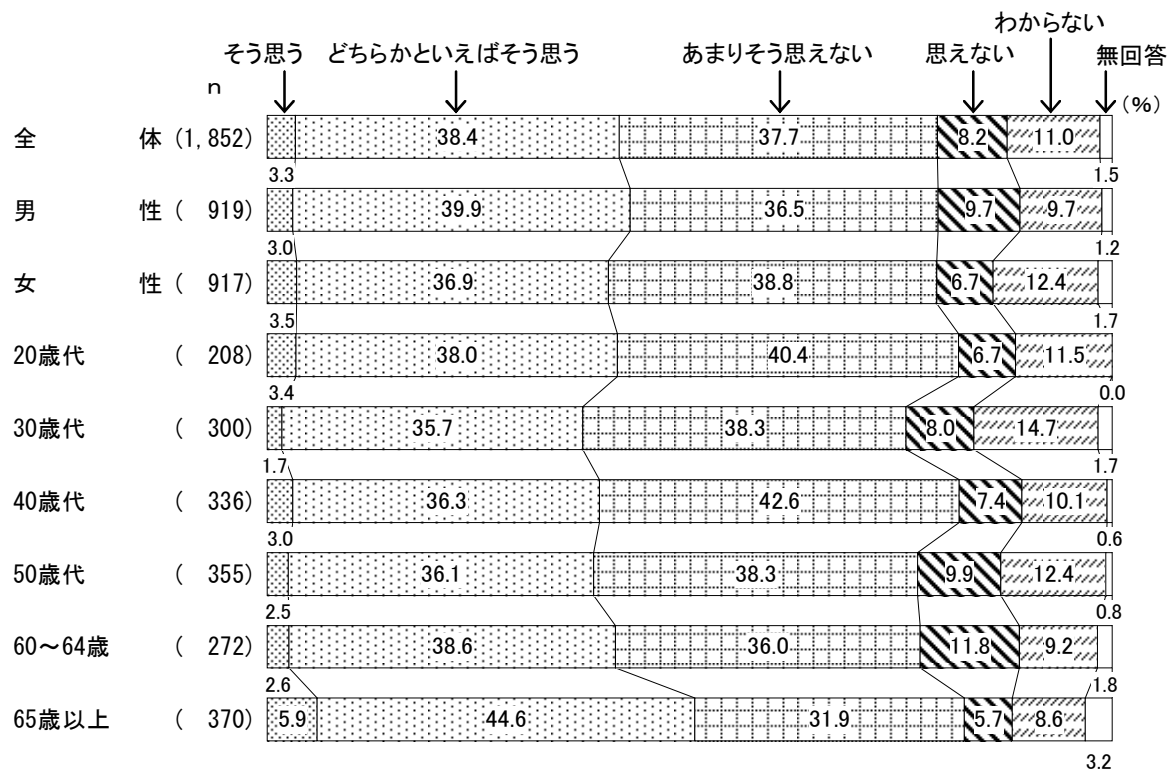
問34 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図7-22-1



八王子市は美観が保持されたまちだと思うかどうか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」がほぼ4割（38.4%）で、「そう思う」（3.3%）と合わせた『そう思う』が4割強（41.7%）となっている。一方、「あまりそう思えない」（37.7%）と「思えない」（8.2%）を合わせた『思えない』が4割台半ば（45.9%）となっている。（図7-22-1）

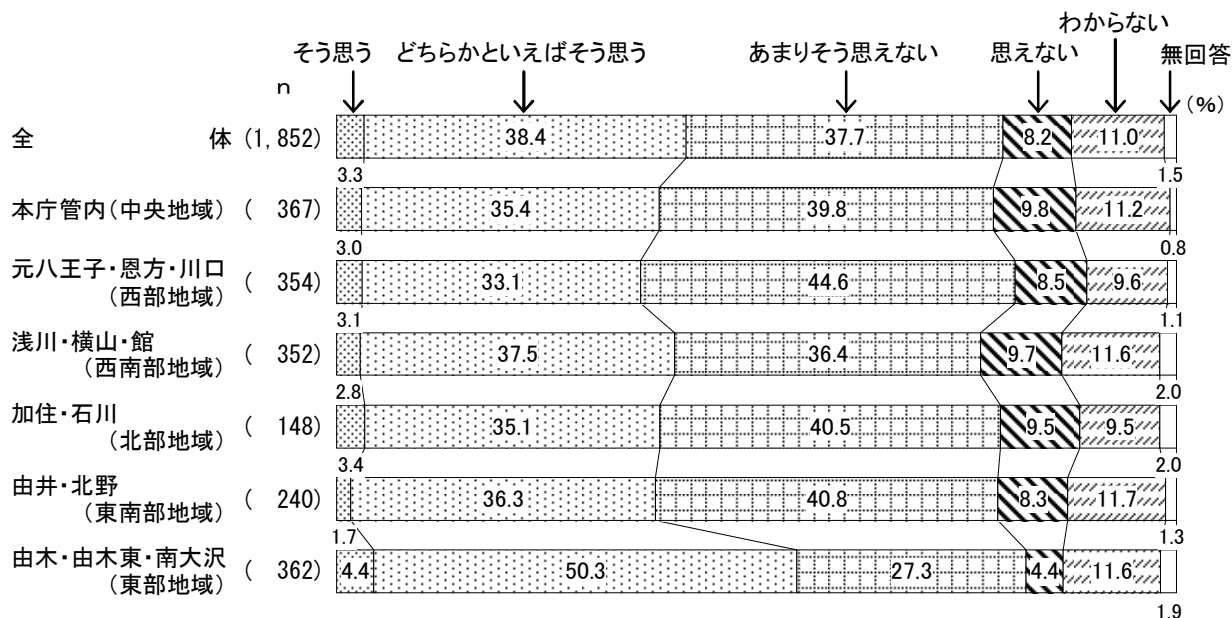
図 7-22-2 市は美観が保持されたまちだと思うかー性別・年齢別



性別にみると、『そう思う』は、男性のほうが2.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上でほぼ5割（50.5%）と高くなっている。（図 7-22-2）

図 7-22-3 市は美観が保持されたまちだと思うかー居住地域別



居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）が5割台半ば（54.7%）で最も高く、元八王子・恩方・川口（西部地域）が4割弱（36.2%）で最も低くなっている。

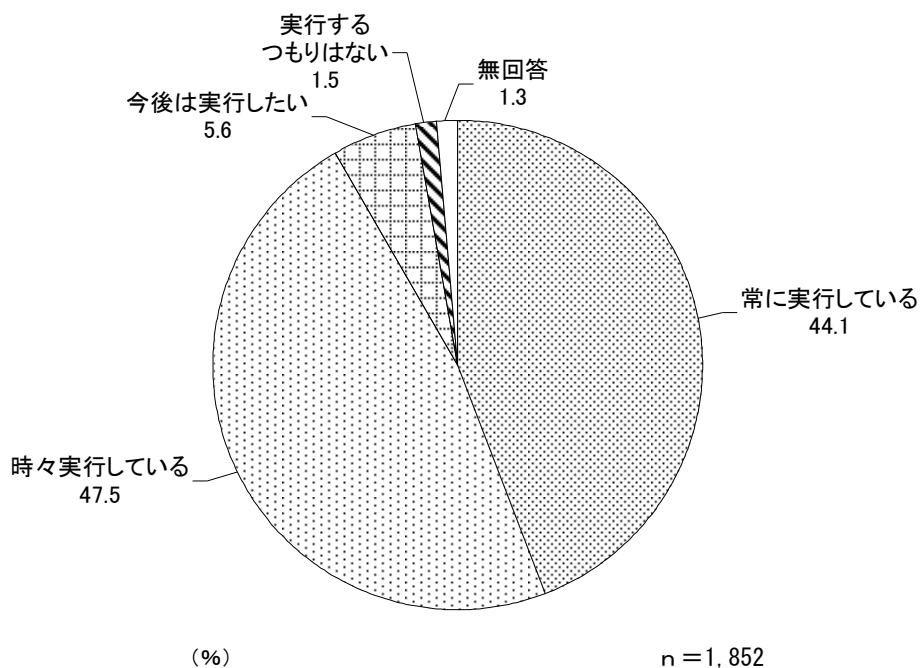
（図 7-22-3）

7-23 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が9割強の大多数

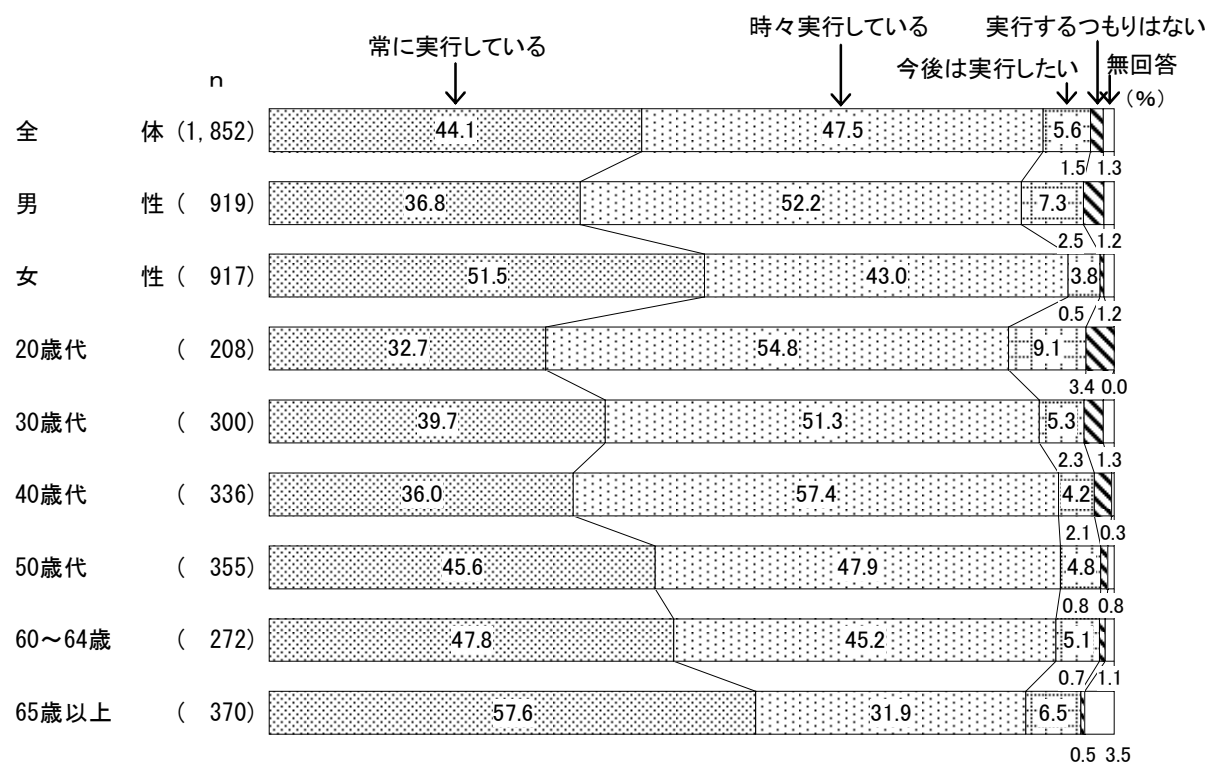
問35 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

図7-23-1



省エネ・省資源の実行について聞いたところ、「時々実行している」が5割弱（47.5%）、「常に行っている」が4割台半ば（44.1%）で、両者を合わせた『実行している』は9割強（91.6%）と高くなっている。（図7-23-1）

図 7-23-2 省エネ・省資源を実行しているかー性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「常に実行している」が14.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代以下に比べて、50歳代以上で「常に実行している」の割合が高く、特に65歳以上では6割弱（57.6%）となっている。（図 7-23-2）

